

2021 年度 授業評価アンケート

1. 授業評価アンケート(学部)

1-2. アンケート実施率

2021年度に実施した授業評価アンケートに基づき、授業評価の結果とその分析をまとめたものである。

【実施率】

以下は学部・教員別の授業評価アンケートの実施率である。

〈学部・教員別〉

所属学部※1	実施 件数	依頼 件数	実施率 ※2	構成比 ／全学	専任／ 非専任別	実施 件数	依頼 件数	実施率 ※2	構成比 ／全学
経済学部	277	462	60.0%	19.6%	専任	157	312	50.3%	13.3%
					非専任	120	150	80.0%	6.4%
人文学部	969	1,545	62.7%	65.6%	専任	334	608	54.9%	25.8%
					非専任	635	937	67.8%	39.8%
社会学部	225	347	64.8%	14.7%	専任	110	186	59.1%	7.9%
					非専任	115	161	71.4%	6.8%
合計 (全学)	1,471	2,354	62.5%	100.0%	専任	601	1,106	54.3%	47.0%
					非専任	870	1,248	69.7%	53.0%

※1 所属学部は、担当教員の所属学科組織コードにより分類した。

※2 実施率は、実施件数／依頼件数とした。

※参考 2020年度実施率 〈学部・教員別〉

所属学部※1	実施 件数	依頼 件数	実施率 ※2	構成比 ／全学	専任／ 非専任別	実施 件数	依頼 件数	実施率 ※2	構成比 ／全学
経済学部	314	462	68.0%	19.6%	専任	183	303	60.4%	12.8%
					非専任	131	159	82.4%	6.7%
人文学部	1,106	1,545	71.6%	65.5%	専任	397	591	67.2%	25.0%
					非専任	709	954	74.3%	40.4%
社会学部	214	353	60.6%	15.0%	専任	118	215	54.9%	9.1%
					非専任	96	138	69.6%	5.8%
合計 (全学)	1,634	2,360	69.2%	100.0%	専任	698	1,109	62.9%	47.0%
					非専任	936	1,251	74.8%	53.0%

※1 所属学部は、担当教員の所属学科組織コードにより分類した。

※2 実施率は、実施件数／依頼件数とした。

【実施率】

以下は授業形態・教員別の授業評価アンケートの実施率である。

（授業形態・教員別）

授業形態※1	実施 件数	依頼 件数	実施率 ※2	構成比 ／全学	専任／ 非専任別	実施 件数	依頼 件数	実施率 ※2	構成比 ／全学
演習	390	802	48.6%	34.1%	専任	272	613	44.4%	26.0%
					非専任	118	189	62.4%	8.0%
講義	550	708	77.7%	30.1%	専任	225	310	72.6%	13.2%
					非専任	325	398	81.7%	16.9%
実習	67	191	35.1%	8.1%	専任	7	50	14.0%	2.1%
					非専任	60	141	42.6%	6.0%
外国語	464	653	71.1%	27.7%	専任	97	133	72.9%	5.6%
					非専任	367	520	70.6%	22.1%
合計 (全学)	1,471	2,354	62.5%	100.0%	専任	601	1,106	54.3%	47.0%
					非専任	870	1,248	69.7%	53.0%

※1 授業形態は、授業の種別により分類した。

※2 実施率は、実施件数／依頼件数とした。

※参考 2020年度実施率（授業形態・教員別）

授業形態※1	実施 件数	依頼 件数	実施率 ※2	構成比 ／全学	専任／ 非専任別	実施 件数	依頼 件数	実施率 ※2	構成比 ／全学
演習	449	803	55.9%	34.0%	専任	328	626	52.4%	26.5%
					非専任	121	177	68.4%	7.5%
講義	565	700	80.7%	29.7%	専任	238	301	79.1%	12.8%
					非専任	327	399	82.0%	16.9%
実習・実技・ 実験	133	190	70.0%	8.1%	専任	32	47	68.1%	2.0%
					非専任	101	143	70.6%	6.1%
外国語	487	667	73.0%	28.3%	専任	100	135	74.1%	5.7%
					非専任	387	532	72.7%	22.5%
合計 (全学)	1,634	2,360	69.2%	100.0%	専任	698	1,109	62.9%	47.0%
					非専任	936	1,251	74.8%	53.0%

※1 授業形態は、授業の種別により分類した。

※2 実施率は、実施件数／依頼件数とした。

1-3. アンケート回答率

【回答率】

以下は授業評価アンケートの学部・教員別回答率である。

〈学部・教員別〉

所属学部※1	依頼 件数	履修 者数	回答 者数	回答率 ※2	専任/ 非専任別	依頼 件数	履修 者数	回答 者数	回答率 ※2
経済学部	462	26,205	2,541	9.7%	専任	312	14,020	1,242	8.9%
					非専任	150	12,185	1,299	10.7%
人文学部	1,545	38,093	6,008	15.8%	専任	608	15,210	2,246	14.8%
					非専任	937	22,883	3,762	16.4%
社会学部	347	16,709	2,329	13.9%	専任	186	7,120	1,056	14.8%
					非専任	161	9,589	1,273	13.3%
合計 (全学)	2,354	81,007	10,878	13.4%	専任	1,106	36,350	4,544	12.5%
					非専任	1,248	44,657	6,334	14.2%

※1 所属学部は、担当教員の所属学科組織コードにより分類した。

※2 回答率は、回答者数／履修者数とした。

※参考 2020 年度回答率 〈学部・教員別〉

所属学部※1	依頼 件数	履修 者数	回答 者数	回答率 ※2	専任/ 非専任別	依頼 件数	履修 者数	回答 者数	回答率 ※2
経済学部	462	27,411	4,300	15.7%	専任	303	14,297	2,268	15.9%
					非専任	159	13,114	2,032	15.5%
人文学部	1,545	37,323	7,647	20.5%	専任	591	14,483	3,029	20.9%
					非専任	954	22,840	4,618	20.2%
社会学部	353	16,607	2,768	16.7%	専任	215	8,602	1,535	17.8%
					非専任	138	8,005	1,233	15.4%
合計 (全学)	2,360	81,341	14,715	18.1%	専任	1,109	37,382	6,832	18.3%
					非専任	1,251	43,959	7,883	17.9%

※1 所属学部は、担当教員の所属学科組織コードにより分類した。

※2 回答率は、回答者数／履修者数とした。

2021 年度の回答率を学部別に見ると、人文学部が最も高く 15.8% であり、社会学部 13.9%、経済学部が 9.7% と続く。また、学部・教員別では、専任教員・非専任教員共に人文学部が最も高い。

【回答率】

以下は授業評価アンケートの科目分類・教員別の回答率である。

〈授業形態・教員別〉

授業形態※1	依頼 件数	履修 者数	回答 者数	回答率 ※2	専任/ 非専任別	依頼 件数	履修 者数	回答 者数	回答率 ※2
演習	802	10,484	1,522	14.5%	専任	613	7,671	983	12.8%
					非専任	189	2,813	539	19.2%
講義	708	56,181	6,999	12.5%	専任	310	25,623	3,037	11.9%
					非専任	398	30,558	3,962	13.0%
実習	191	3,306	199	6.0%	専任	50	776	19	2.4%
					非専任	141	2,530	180	7.1%
外国語	653	11,036	2,158	19.6%	専任	133	2,280	505	22.1%
					非専任	520	8,756	1,653	18.9%
合計 (全学)	2,354	81,007	10,878	13.4%	専任	1,106	36,350	4,544	12.5%
					非専任	1,248	44,657	6,334	14.2%

※1 授業形態は、授業の種別により分類した。

※2 回答率は、回答者数／履修者数とした。

※参考 2020年度回答率 〈授業形態・教員別〉

授業形態※1	依頼 件数	履修 者数	回答 者数	回答率 ※2	専任/ 非専任別	依頼 件数	履修 者数	回答 者数	回答率 ※2
演習	803	10,617	1,841	17.3%	専任	626	7,924	1,258	15.9%
					非専任	177	2,693	583	21.6%
講義	700	57,665	10,020	17.4%	専任	301	26,721	4,938	18.5%
					非専任	399	30,944	5,082	16.4%
実習・実技・ 実験	190	2,812	479	17.0%	専任	47	621	124	20.0%
					非専任	143	2,191	355	16.2%
外国語	667	10,247	2,375	23.2%	専任	135	2,116	512	24.2%
					非専任	532	8,131	1,863	22.9%
合計 (全学)	2,360	81,341	14,715	18.1%	専任	1,109	37,382	6,832	18.3%
					非専任	1,251	43,959	7,883	17.9%

※1 授業形態は、授業の種別により分類した。

※2 回答率は、回答者数／履修者数とした。

授業形態別では、外国語が 19.6%と最も高い。授業形態・教員別で見ると、専任教員では外国語、非専任教員では演習が最も高い。また、外国語のみ、専任教員の方が非専任教員よりも回答率が高い。

【授業ごとの回答率の分布】

以下は授業評価アンケートについて授業ごとに回答率(回答者数/履修者数)を算出した、学部・教員別の分布である。

〈学部・教員別〉

所属学部 ※1	20% 未満	20%～ 40%未満	40%～ 60%未満	60%～ 80%未満	80% 以上	専任/ 非専任別	20% 未満	20%～ 40%未満	40%～ 60%未満	60%～ 80%未満	80% 以上
経済学部	82.3%	11.3%	5.0%	1.1%	0.4%	専任	83.0%	9.6%	5.8%	1.0%	0.6%
						非専任	80.7%	14.7%	3.3%	1.3%	0.0%
人文学部	68.2%	19.5%	9.2%	1.9%	1.2%	専任	71.2%	17.1%	7.7%	2.8%	1.2%
						非専任	66.3%	21.0%	10.1%	1.4%	1.2%
社会学部	73.5%	13.8%	4.3%	2.3%	6.1%	専任	75.3%	10.2%	4.3%	1.1%	9.1%
						非専任	71.4%	18.0%	4.3%	3.7%	2.5%
合計 (全学)	71.8%	17.0%	7.6%	1.8%	1.7%	専任	75.2%	13.8%	6.6%	2.0%	2.4%
						非専任	68.7%	19.9%	8.6%	1.7%	1.2%

※1 所属学部は、担当教員の所属学科組織コードにより分類した。

※参考 2020年度授業ごとの回答率の分布 〈学部・教員別〉

所属学部 ※1	20% 未満	20%～ 40%未満	40%～ 60%未満	60%～ 80%未満	80% 以上	専任/ 非専任別	20% 未満	20%～ 40%未満	40%～ 60%未満	60%～ 80%未満	80% 以上
経済学部	72.1%	15.6%	8.7%	2.8%	0.9%	専任	71.6%	16.2%	7.6%	3.6%	1.0%
						非専任	73.0%	14.5%	10.7%	1.3%	0.6%
人文学部	59.7%	23.0%	11.9%	4.7%	0.8%	専任	61.3%	21.7%	11.8%	3.9%	1.4%
						非専任	58.7%	23.8%	11.9%	5.1%	0.4%
社会学部	72.2%	15.0%	5.9%	4.0%	2.8%	専任	74.9%	12.6%	3.7%	4.7%	4.2%
						非専任	68.1%	18.8%	9.4%	2.9%	0.7%
合計 (全学)	64.0%	20.3%	10.4%	4.2%	1.1%	専任	66.7%	18.4%	9.1%	4.0%	1.8%
						非専任	61.6%	22.1%	11.5%	4.4%	0.5%

※1 所属学部は、担当教員の所属学科組織コードにより分類した。

2021年度の授業ごとの回答率の分布を学部別に見ると、どの学部においても20%未満が最も高い結果となっている。

【授業ごとの回答率の分布】

以下は授業評価アンケートについて授業ごとに回答率(回答者数/履修者数)を算出した、授業形態・教員別の分布である

〈科目分類・教員別〉

授業形態 ※1	20%	20%～	40%～	60%～	80%	専任/ 非専任別	20%	20%～	40%～	60%～	80%
	未満	40%未満	60%未満	80%未満	以上		未満	40%未満	60%未満	80%未満	以上
演習	74.1%	14.5%	6.7%	2.2%	2.5%	専任	76.8%	11.6%	6.7%	2.1%	2.8%
						非専任	65.1%	23.8%	6.9%	2.6%	1.6%
講義	75.6%	18.2%	4.1%	1.0%	1.1%	専任	79.0%	15.2%	3.5%	0.6%	1.6%
						非専任	72.9%	20.6%	4.5%	1.3%	0.8%
実習	83.2%	8.4%	4.7%	2.1%	1.6%	専任	88.0%	2.0%	4.0%	2.0%	4.0%
						非専任	81.6%	10.6%	5.0%	2.1%	0.7%
外国語	61.4%	21.4%	13.5%	2.1%	1.5%	専任	54.1%	25.6%	14.3%	4.5%	1.5%
						非専任	63.3%	20.4%	13.3%	1.5%	1.5%
合計 (全学)	71.8%	17.0%	7.6%	1.8%	1.7%	専任	75.2%	13.8%	6.6%	2.0%	2.4%
						非専任	68.7%	19.9%	8.6%	1.7%	1.2%

※1 授業形態は、授業の種別により分類した。

※参考 2020年度授業ごとの回答率の分布 〈授業形態・教員別〉

授業形態 ※1	20%	20%～	40%～	60%～	80%	専任/ 非専任別	20%	20%～	40%～	60%～	80%
	未満	40%未満	60%未満	80%未満	以上		未満	40%未満	60%未満	80%未満	以上
演習	70.2%	15.1%	9.3%	3.5%	1.9%	専任	72.2%	14.5%	7.2%	3.8%	2.2%
						非専任	63.3%	16.9%	16.9%	2.3%	0.6%
講義	65.7%	23.9%	8.4%	1.4%	0.6%	専任	62.5%	26.2%	8.6%	2.0%	0.7%
						非専任	68.2%	22.1%	8.3%	1.0%	0.5%
実習・実 技・実験	58.9%	27.4%	10.5%	2.1%	1.1%	専任	57.4%	25.5%	12.8%	2.1%	2.1%
						非専任	59.4%	28.0%	9.8%	2.1%	0.7%
外国語	56.1%	21.0%	13.6%	8.5%	0.7%	専任	54.1%	16.3%	17.8%	9.6%	2.2%
						非専任	56.6%	22.2%	12.6%	8.3%	0.4%
合計 (全学)	64.0%	20.3%	10.4%	4.2%	1.1%	専任	66.7%	18.4%	9.1%	4.0%	1.8%
						非専任	61.6%	22.1%	11.5%	4.4%	0.5%

※1 授業形態は、授業の種別により分類した。

2021年度の授業ごとの回答率の分布を授業形態別に見ると学部別と同様に20%未満が最も高い結果となっており、同様の傾向が見られる。

1-4. アンケート結果の考察

【Ⅰ. 授業への取組状況】

授業を履修した理由(Ⅰ-1)としては、総合科目、専門科目の講義では「授業内容にひかれた」、外国語科目、専門科目(全体)の演習では「必修だから」が高く、結果が分かれる。総合科目及び専門科目(全体)の講義においては「授業内容にひかれた」が前年度よりも上昇している。

予習・復習など授業外における1週間の取組み(Ⅰ-3)に関しては、全体として「2時間未満～1時間以上」「1時間未満」の回答が高い結果となった。演習では取組み時間が長い傾向があり、一方で、講義形式では取組み時間が短い傾向が見られる。

出席(Ⅰ-4)に関しては、「ほぼ毎回出席した」の回答が90%前後を占める結果となった。

【Ⅱ. 授業評価】

前年度と同じく、総合的にみた授業の満足度(Ⅱ-1)は全体的に高く、「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が、総合科目・外国語科目・専門科目(全体)で8割を超える結果となった。ほとんどの科目分類・授業形態において、「強くそう思う」「まあそう思う」は前年度より上昇しており、特に総合科目、専門科目(全体)の演習において「強くそう思う」が50%を超える。科目分類・授業形態別で大きな違いはなく、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」は全体として前年度より低下し、5%前後の結果となる。

この授業を特に優れた授業として他の学生に勧めたい(Ⅱ-8)においても、全体的に「強くそう思う」「まあそう思う」が高い結果となった。授業形態別での違いはそれほど大きくないが、演習の方が講義よりも「強くそう思う」が高い傾向が見られ、総合的にみた授業の満足度(Ⅱ-1)と同じような結果が得られている。

授業内容に関する設問は、いずれの設問でも科目分類・授業形態に関わらず全体的に評価が高く、前年度より上昇している設問が多い。引き続き学生の理解促進・興味喚起に繋がる授業が望まれる。

教員に関連する設問では、質問や問い合わせへの対応(Ⅱ-7)、報告や討論の仕方についての指導(Ⅱ-B-1)など、教員と学生間のコミュニケーションに関する設問において、「質問や問い合わせをしなかった」「対象外」の回答率がやや高い。特に質問や問い合わせへの対応(Ⅱ-7)は、科目分類・学部に関わらず「質問や問い合わせをしなかった」が前年度より上昇しているため、留意が必要である。該当者の回答に限定すると、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」は5%前後に留まるため、評価は高い。また、学習にふさわしい雰囲気を保つよう心がけていた(Ⅱ-5)、授業に対する教員の意欲(Ⅱ-6)については、全体として9割前後が「強くそう思う」「まあそう思う」と回答しており、評価は高い。

※

■ 授業内容に関する設問

Ⅱ-2. 授業内容を理解できた

Ⅱ-3. 授業内容に興味を持てた

Ⅱ-4. 授業の進行速度は適切だった

Ⅱ-A-1. 教科書・配布資料などは効果的に使われていた

Ⅱ-A-2. 配布資料などの文字は読みやすく書かれていた

Ⅱ-B-2. 「自ら調べ自ら考える」ことが楽しくなった

■ 教員に関連する設問

Ⅱ-5. 教員は学習にふさわしい雰囲気を保つよう心がけていた

Ⅱ-6. 授業に対する教員の意欲を感じた

Ⅱ-7. 教員は質問や問い合わせに適切に対応してくれた

Ⅱ-B-1. 教員は報告や討論の仕方について指導してくれた

【Ⅲ. 身についた知識・能力・態度】

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」が前年度よりも高くなっている項目が多い。

科目分類・授業形態問わず、主体的な学習態度(Ⅲ-3)、学修の成果や学習態度を実社会で生涯をつうじて活用できる実践力(Ⅲ-9)において、前年度と同様に全体的に「強くそう思う」「まあそう思う」が高く、「授業内容が該当しない」の回答率が低い。前年度と比べ、特に主体的な学習態度(Ⅲ-3)では専門科目(人文学部)の演習において「強くそう思う」が約 10%上昇している。また、専門科目(全体)では、自身の専攻分野に関する十分な知識(Ⅲ-2)に関して、「強くそう思う」「まあそう思う」が高い。しかしながら、総合科目及び専門科目(社会学部)の演習において、「強くそう思う」が僅かに低下しているため今後留意が必要と思われる。

また、批判的なものの見方(Ⅲ-4)は「強くそう思う」「まあそう思う」が前年度よりやや上昇している。しかしながら主体的な学習態度(Ⅲ-3)と比較すると、依然として「授業内容が該当しない」回答率が高く、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」もやや高い。両設問共に、講義において「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が他の授業形態よりも僅かに高く、引き続き改善が求められる。

また、異文化理解(Ⅲ-5及びⅢ-6)、グローバルな視点(Ⅲ-7)、外国語運用能力(Ⅲ-8)に関しては、前年度と同様に「授業内容が該当しない」が半数前後となる。該当者の回答を見ると、ほとんどの科目で「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が 10%前後だが、外国語運用能力(Ⅲ-8)における外国語科目では「あまりそう思わない」「全くそう思わない」約 20%と他科目と比べやや高い。

1-5. 集計結果

授業評価アンケートの集計結果を設問ごとに示す。分類は以下の通り。

- ・【総合科目】講義／演習
- ・【外国語科目】実習
- ・【専門科目(全体)】講義／演習／実習
※専門科目(全体)は専門科目(各学部)の合計値
- ・【専門科目(経済学部)】講義／演習／実習
- ・【専門科目(人文学部)】講義／演習／実習
- ・【専門科目(社会学部)】講義／演習／実習

【I. 授業への取組状況】

I-1. この授業を履修した理由は何ですか？

全体として「授業内容にひかれた」「必修だから」が高い結果となった。

総合科目を授業形態別で見ると、「授業内容にひかれた」の次に、講義では「時間割上都合がよかった」、演習では「必修だから」*が高い。また、前年度と比べ講義では「授業内容にひかれた」が高くなり「時間割上都合がよかった」が低くなっている。演習では「授業内容にひかれた」が低くなり、「必修だから」が高くなっている。

外国語科目は前年度とはほぼ同様で、「必修だから」が最も高い結果となった。

専門科目を学部・授業形態別で見ると、前年度と同様に学部別での違いはそれほど大きくはないが、講義では「授業内容にひかれた」「時間割上都合がよかった」、演習では「必修だから」が比較的高い傾向が見られる。

※本学の総合科目において、必修科目は存在しないため、回答学生による誤った選択である可能性が高い。

I-2. この授業はシラバスに沿って行われていたか

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。学部・科目分類別での違いはそれほど大きくないが、専門科目においては経済学部・人文学部と比べ社会学部では「強くそう思う」が比較的低い傾向が見られる。なお、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」はいずれにおいても5%以下に留まる。

I-3. この授業に関して、予習・復習など授業外での取組みを1週間でどのくらい行ったか

全体として「2時間未満～1時間以上」「1時間未満」の回答が高い結果となった。科目分類・授業形態別にみると、演習において他の授業形態と比べ「2時間以上」の回答が比較的高い傾向が見られる。特に専門科目において、専門科目(人文学部)及び専門科目(社会学部)の演習では「4時間以上」が10%を超える。一方で、講義において「全くしなかった」が10%以上と高く、特に総合科目では20%を超える結果となる。

I-4. この授業にどの程度出席していたか

全体として「ほぼ毎回出席した」の回答が90%前後を占める結果となった。科目分類・授業形態別での違いもほとんど見られない。なお、「8割くらい出席した」においてもいずれの科目分類・授業形態別でも10%を下回る。

【Ⅱ. 授業評価】

Ⅱ-1. 総合的にみて、この授業は満足できたか

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。科目分類・授業形態別での違いはそれほど大きくなく、前年度と比べほとんどの項目で「強くそう思う」「まあそう思う」が上昇している。特に総合科目の講義、専門科目(人文学部)の講義・演習では、前年度と比べ「強くそう思う」が10%以上上昇している。また、総合科目、専門科目(全体)の演習において「強くそう思う」が50%を超える。一方で、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」は全体として前年度より低下し、5%前後の結果となる。

Ⅱ-2. 授業内容を理解できた

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。前年度と比べ「強くそう思う」がほとんどの科目分類・授業形態で上昇しており、特に総合科目の講義において前年度と比べ「強くそう思う」が10%以上上昇している。一方で、総合科目の演習は前年度より10%以上低下している。専門科目においては、他学部が上昇している一方、社会学部はほぼ前年度と同様の結果となった。

Ⅱ-3. 授業内容に興味を持てた

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。科目分類・授業形態別でみると、講義において「強くそう思う」が前年度より高くなっている傾向が見られる。特に、総合科目の講義、専門科目(全体)の実習において「強くそう思う」が前年度と比べ10%以上上昇している。演習においては前年度と比べ、専門科目(人文学部)は上昇している一方、総合科目、専門科目(社会学部)は低下傾向が見られる。

Ⅱ-4. 授業の進行速度は適切だった

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。授業形態別での違いはそれほど大きくないが、演習の方が講義よりも「強くそう思う」の回答に高い傾向が見られる。科目分類別に見ると、専門科目(社会学部)において「強くそう思う」がやや低い。「あまりそう思わない」「全くそう思わない」はいずれの科目分類・授業形態においても高くはないが、外国語科目、専門科目(経済学部)及び専門科目(社会学部)の演習は5%を超える。

Ⅱ-5. 教員は学習にふさわしい雰囲気を保つよう心がけていた

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。授業形態別での違いはそれほど大きくないが、演習の方が講義よりも「強くそう思う」の回答に高い傾向が見られる。科目分類別に見ると、専門科目(人文学部)においていずれの授業形態においても「強くそう思う」が50%を超える。一方で、専門科目(人文学部)の実習では「全くそう思わない」が他学部よりも僅かに高い傾向が見られる。

Ⅱ-6. 授業に対する教員の意欲を感じた

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。授業形態別での違いはそれほど大きくないが、演習の方が講義よりも「強くそう思う」の回答に高い傾向が見られる。科目分類別に見ると、専門科目(人文学部)においていずれの授業形態においても「強くそう思う」が50%を超える。「あまりそう思わない」「全くそう思わない」はいずれの科目分類・授業形態においても低く、5%前後に留まる。

Ⅱ-7. 教員は質問や問い合わせに適切に対応してくれた

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。前年度と比べ、専門科目(人文学部)においては「強くそう思う」が上昇している一方で、総合科目、専門科目(社会学部)において、「強くそう思う」が低下している。また、前年度と比べ、「質問や問い合わせをしなかった」が上昇しており、特に総合科目・専門科目(全体)の講義と外国語科目において顕著な傾向が見られる。

Ⅱ-8. この授業を特に優れた授業として他の学生に勧めたい

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。授業形態別での違いはそれほど大きくないが、演習の方が講義よりも「強くそう思う」の回答に高い傾向が見られる。科目分類別に見ると、他学部の

専門科目と比べ専門科目(社会学部)において「強くそう思う」の回答にやや低い傾向が見られる。「あまりそう思わない」「全くそう思わない」は科目分類・授業形態別に大きな違いはなく、5%前後となる。

II-A-1. 教科書・配布資料等は効果的に使われていた

※「講義」または「実習(外国語)」のみ集計対象

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。外国語科目において「強くそう思う」が最も高く、50%を超える。「あまりそう思わない」「そう思わない」はいずれの学部・科目においても僅かとなる。また、「対象外(教科書や資料を使用していない授業)」は、総合科目、専門科目においてそれぞれ 10%前後となる。

II-A-2. 配布資料などの文字は読みやすく書かれていた

※「講義」または「実習(外国語)」のみ集計対象

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。科目分類・授業形態別での違いはほとんど見られない。「あまりそう思わない」「そう思わない」はいずれの科目分類・授業形態においても僅かとなる。また、「対象外(教科書や資料を使用していない授業)」は、外国語科目において 20%を超え、他の科目分類と比べ高い。

II-B-1. 教員は報告や討論の仕方について指導してくれた

※「演習」または「実習」のみ集計対象

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。専門科目(人文学部)の演習において、「強くそう思う」が他の学部の専門科目よりも僅かに高く 50%を超える。また、「対象外(報告や討論を行わない授業)」は総合科目の演習、専門科目(人文学部)の実習において 25%を超え、他の科目分類と比べやや高い結果となる。

II-B-2. 「自ら調べ自ら考える」ことが楽しくなった

※「演習」または「実習」のみ集計対象

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。科目分類・授業形態別での違いはほとんど見られない。総合科目及び専門科目(人文学部)の演習において、「強くそう思う」が他の科目分類よりも僅かに高く 40%を超える。「あまりそう思わない」「全くそう思わない」はいずれも僅かではあるが、専門科目(経済学部)・専門科目(社会学部)の演習において5%を超える。

【Ⅲ. 身についた知識・能力・態度】

Ⅲ-1. グローバル市民として生きていくのに有益な幅広い教養が身についた

前年度と同様、全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答と、「授業内容が該当しない」という回答に分かれる結果となった。外国語科目、専門科目(全体)の実習において「強くそう思う」「まあそう思う」が比較的高い。また、前年度と比べ外国語科目、講義において「強くそう思う」が上昇している。「あまりそう思わない」「全くそう思わない」は前年度とほぼ同様。専門科目(経済学部)の講義・演習において、他の科目分類と比べ「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が僅かに高い。

Ⅲ-2. 自身の専攻分野に関する十分な知識が身についた

前年度と同じく、総合科目、外国語科目と専門科目間の「強くそう思う」「まあそう思う」の回答に差が大きい結果となった。総合科目においてはいずれの授業形態においても「授業内容が該当しない」が前年度よりやや低下し 30%を超えている。専門科目では、「強くそう思う」「まあそう思う」がほぼ全ての授業形態で 65%を超える。ほとんどの科目分類・授業形態で前年度と比べ「強くそう思う」が上昇している一方で、総合科目、専門科目(社会学部)の演習では「強くそう思う」がやや低下している。

Ⅲ-3. 主体的な学習態度が身についた

前年度と同様、全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。科目分類・授業形態別の違いはそれほど大きくないが、総合科目の演習、専門科目(全体)の演習・実習において「強くそう思う」が比較的高く 30%以上となる。一方で、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」は前年度と比べ全体として低下傾向ではあるが、専門科目(人文学部)の実習では僅かに上昇している。また、総合科目、専門科目(全体)の講義においては、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が 10%以上と他の科目分類と比べ高い。

Ⅲ-4. 批判的なものの見方が身についた

前年度と同じく、全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答と、「授業内容が該当しない」という回答に分かれる結果となった。総合科目、専門科目(人文学部)及び専門科目(社会学部)の講義・演習では、「強くそう思う」「まあそう思う」が 50%以上と高い結果を維持している。また、ほぼ全ての科目分類・授業形態において「強くそう思う」「まあそう思う」が前年度より高くなっている。一方で、外国語科目において「授業内容が該当しない」が約 60%であり、専門科目(全体)の講義において「授業内容が該当しない」が前年度より僅かに高くなっている。また、専門科目(経済学部)において、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が前年度より低下したが、他の科目分類と比べるとやや高い結果となる。

Ⅲ-5. 異文化を理解し多様な他者と協働して社会に貢献できる対話力が身についた

前年度と同様に、全体として「授業内容が該当しない」の回答が高い結果となった。総合科目の講義、専門科目(経済学部)及び専門科目(社会学部)の講義・演習では「授業内容が該当しない」が 60%前後であり、特に専門科目(経済学部)の講義において 73%と前年度より高くなっている。一方で、総合科目の演習、外国語科目、専門科目(人文学部)においては「強くそう思う」「まあそう思う」が前年度と同じく 40%以上を維持し、他の科目分類よりも高い結果となる。特に外国語科目、専門科目(人文学部)においては「強くそう思う」が前年度より高くなり 20%前後となる。

Ⅲ-6. 異文化を理解し多様な他者と協働して社会に貢献できる共感が身についた

前年度と同様に、全体として「授業内容が該当しない」の回答が高い結果となった。総合科目、専門科目(経済学部)及び専門科目(社会学部)の講義・演習では「授業内容が該当しない」が 50%前後であり、特に専門科目(経済学部)の講義・演習では 60%を超える。一方で、外国語科目及び専門科目(人文学部)の全ての授業形態で「強くそう思う」「まあそう思う」が 50%以上となり他の科目分類よりも高い。特に外国語科目、専門科目(人文学部)の実習は「強くそう思う」「まあそう思う」が前年度と比べ上昇しており、専門科目(人文学部)の実習にお

いては 60%を超える。一方で、専門科目(経済学部)の演習、専門科目(社会学部)の講義・演習において「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が前年度より僅かに高くなっている。

II-7. グローバルな視点で物事を考える力が身についた

前年度と同じく、全体として「授業内容が該当しない」の回答が高い結果となった。総合科目の講義、専門科目(経済学部)及び専門科目(社会学部)の講義・演習では「授業内容が該当しない」が50%前後であり、特に専門科目(経済学部)の講義・演習において約 60%と高いままとなっている。一方で、外国語科目、専門科目(人文学部)においては「強くそう思う」「まあそう思う」が 50%以上となり他の科目分類よりも高く、前年度よりも上昇している。特に専門科目(人文学部)は「強くそう思う」が前年度より上昇し、20%を超える。「あまりそう思わない」「全くそう思わない」は前年度と比べ大きな違いはないが、専門科目(経済学部)の演習において僅かに上昇している。

II-8. 十分な外国語運用能力が身についた

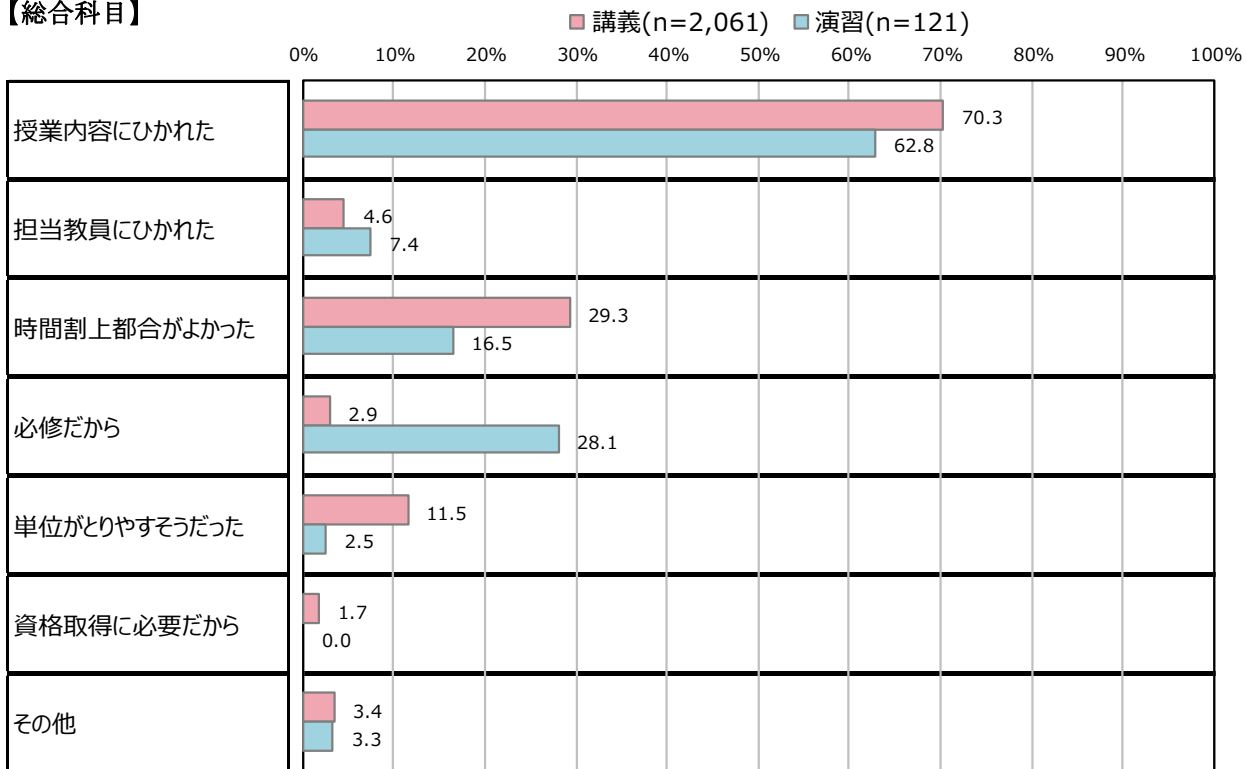
前年度と同様、外国語科目及び専門科目(全体)の実習と、総合科目及び専門科目(全体)の講義・演習とで回答が分かれる結果となった。外国語科目及び専門科目(全体)の実習では、「強くそう思う」「まあそう思う」が高く、70%を超える。いずれも前年度より「強くそう思う」が上昇している。一方で、総合科目及び専門科目(全体)の講義・演習では「授業内容が該当しない」が60%を超えており、特に専門科目(社会学部)の講義・演習では 85%と他の科目分類より高い。また、外国語科目は「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が約 20%となり、他の科目分類よりも高い。専門科目(経済学部)及び専門科目(社会学部)の演習において、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」は前年度よりも僅かに上昇している。

II-9. 学修の成果や学習態度を実社会で生涯をつうじて活用できる実践力が身についた

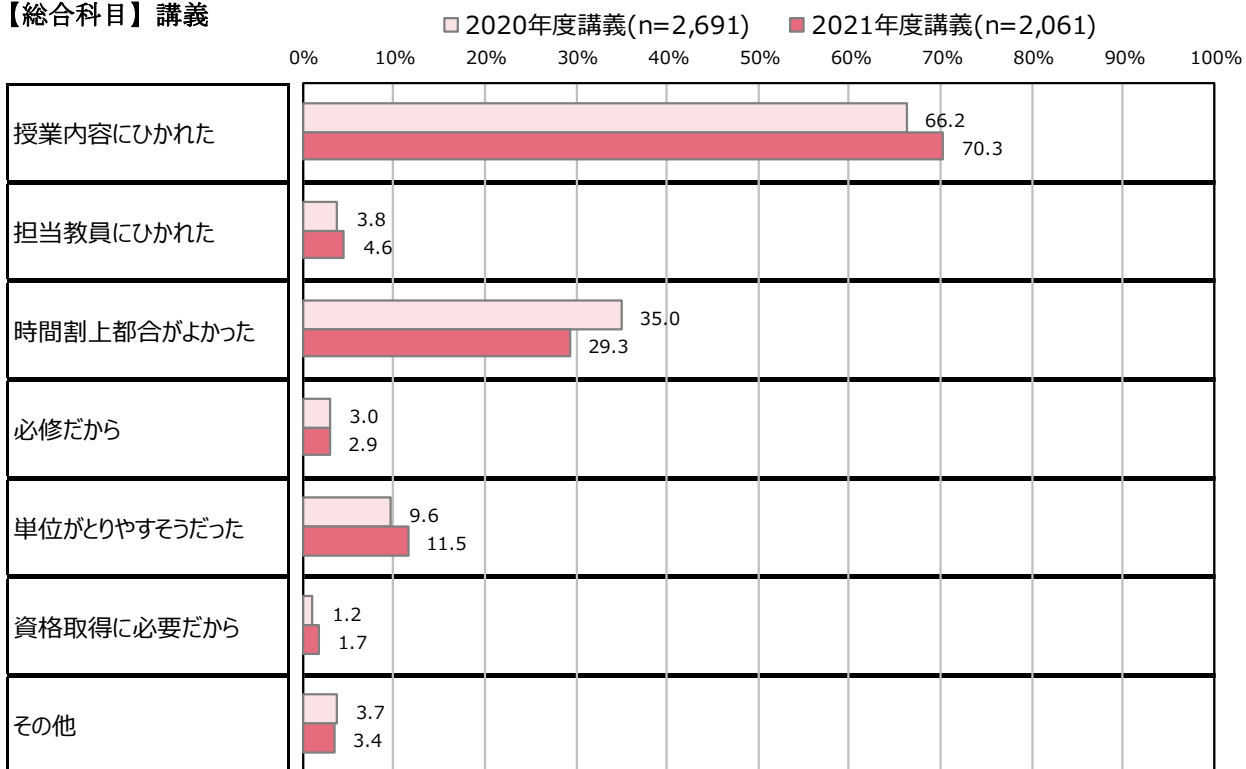
前年度と同じく、全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。科目分類・授業形態別での違いはそれほど大きくないが、総合科目、専門科目(経済学部)及び専門科目(人文学部)の演習において「強くそう思う」が比較的高く 30%以上となる。また、「強くそう思う」はいずれの科目分類・授業形態でも前年度と比べ上昇している。一方で、総合科目の講義、外国語科目、専門科目(全体)の講義において、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が前年度より低下したものの他の科目分類よりも僅かに高い。

I-1. この授業を履修した理由は何ですか？(複数回答可)

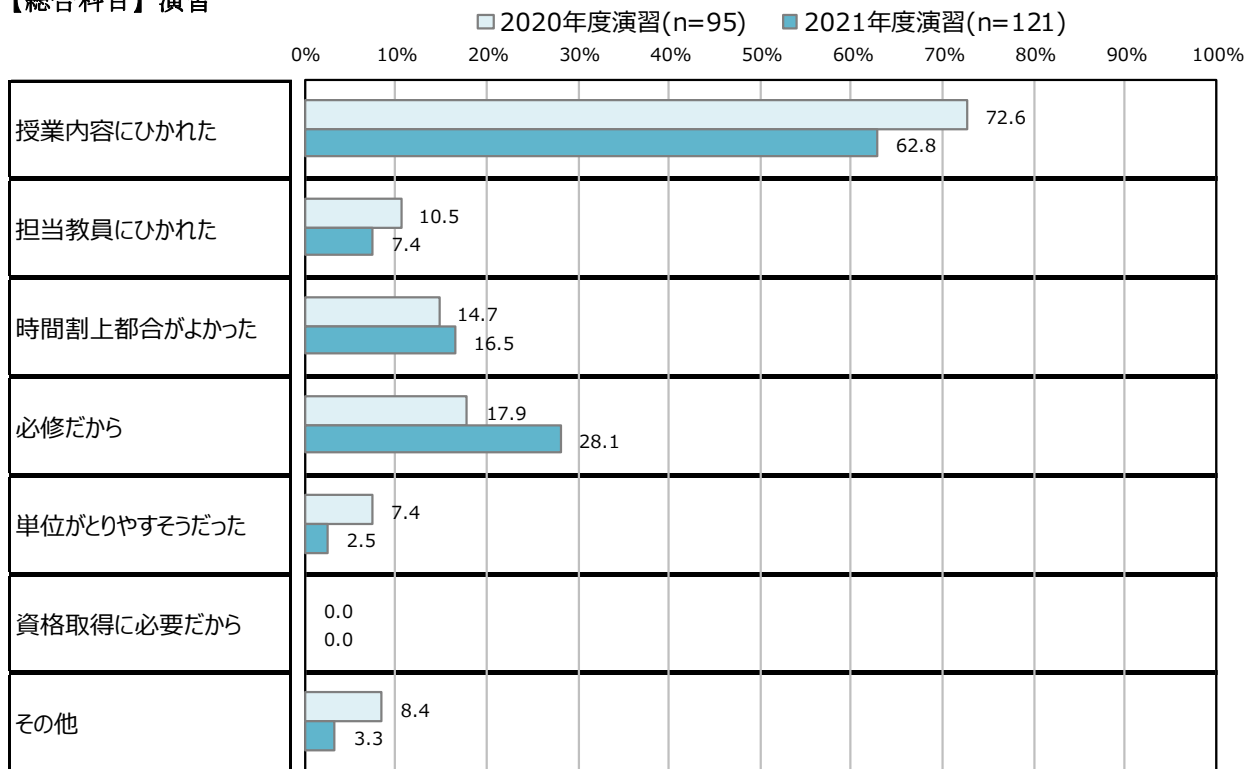
【総合科目】



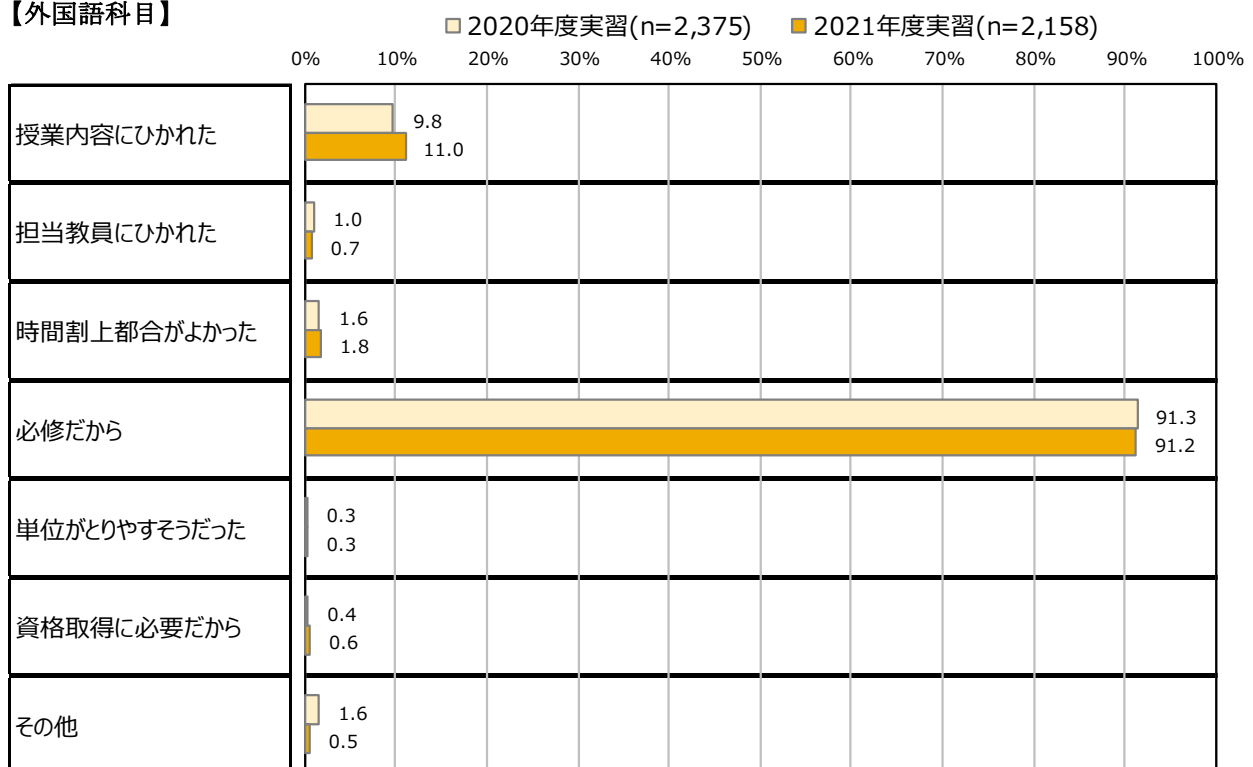
【総合科目】 講義



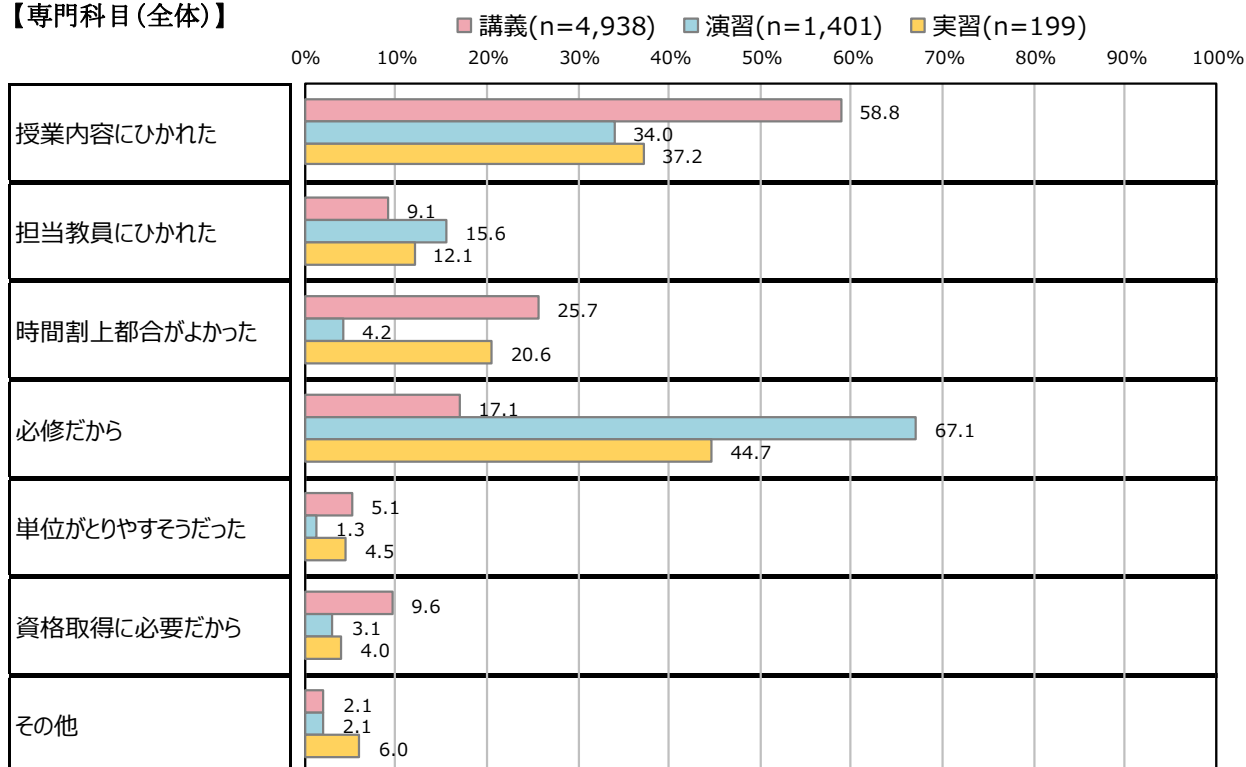
【総合科目】 演習



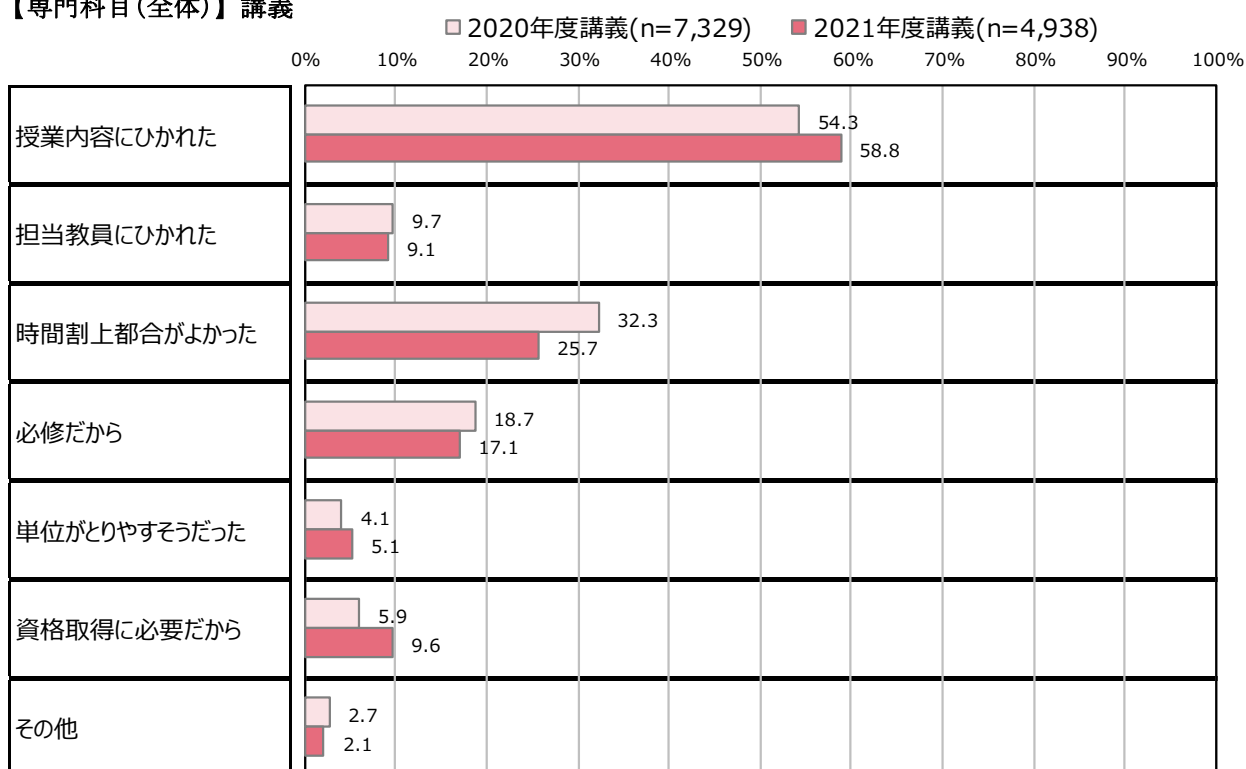
【外国語科目】



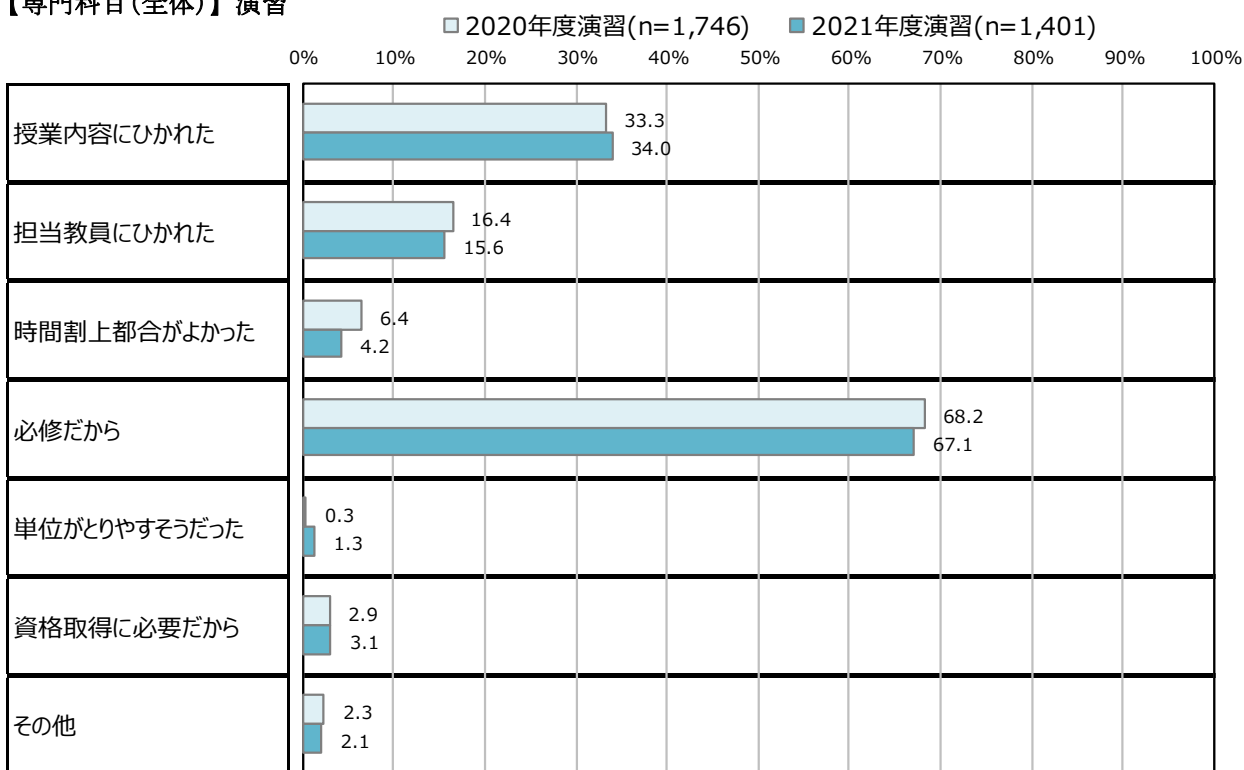
【専門科目(全体)】



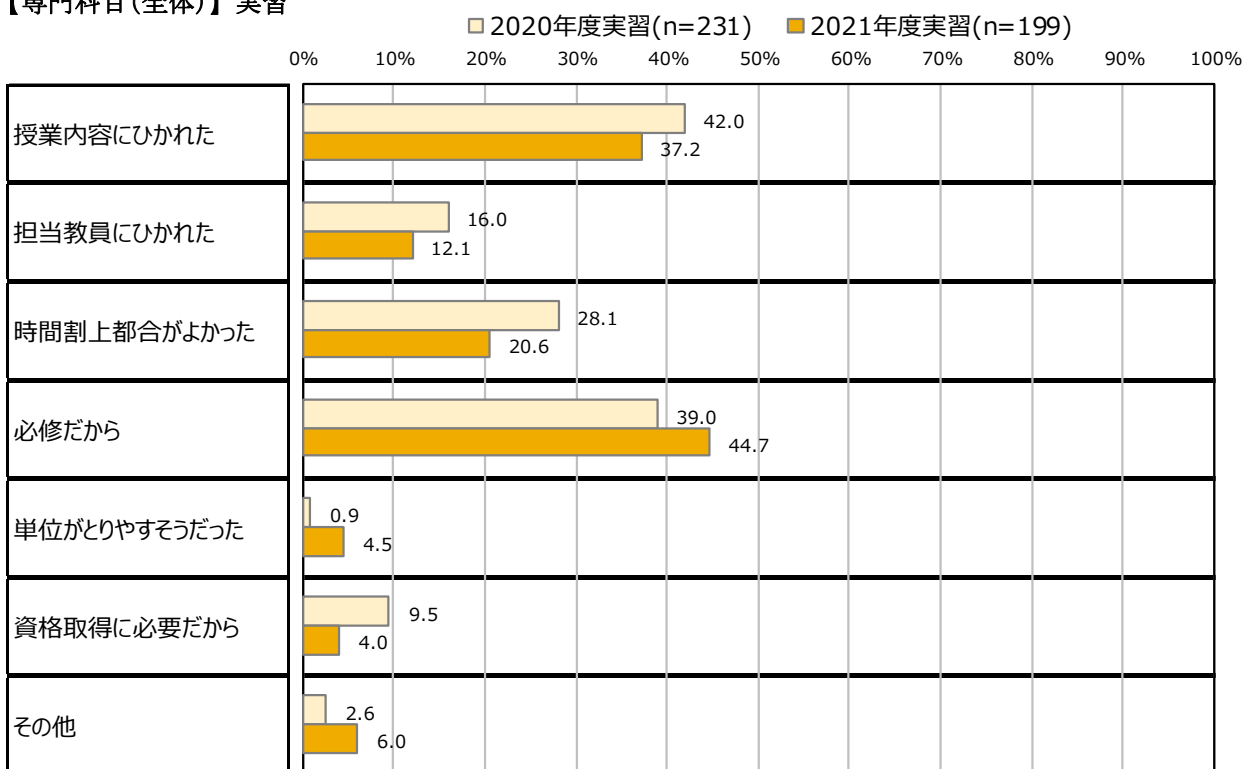
【専門科目(全体)】 講義



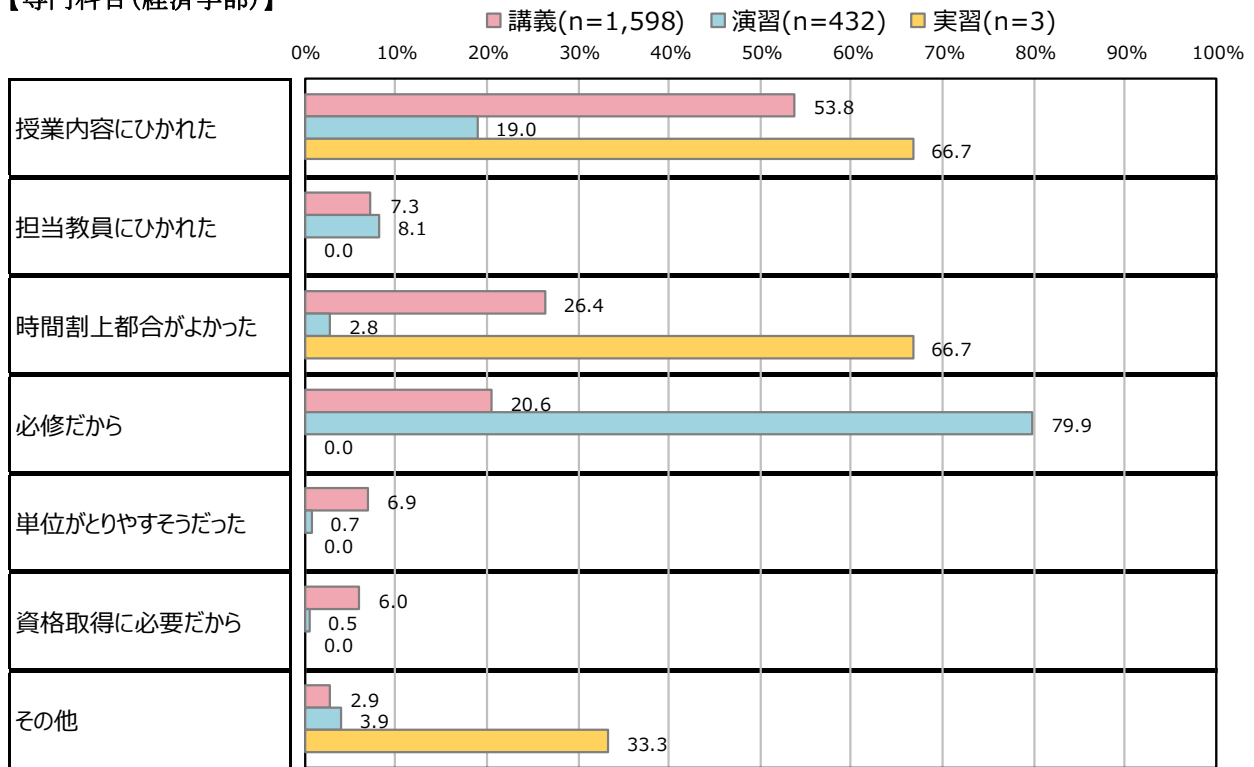
【専門科目(全体)】演習



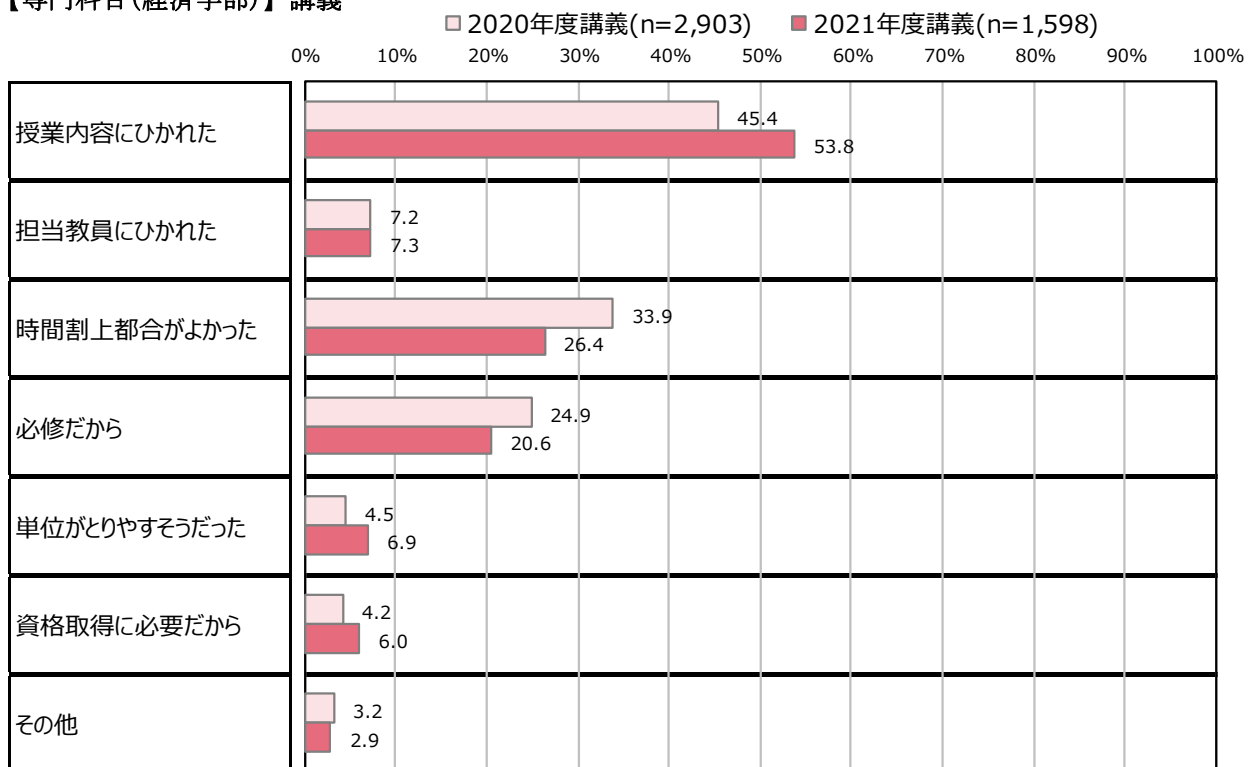
【専門科目(全体)】実習



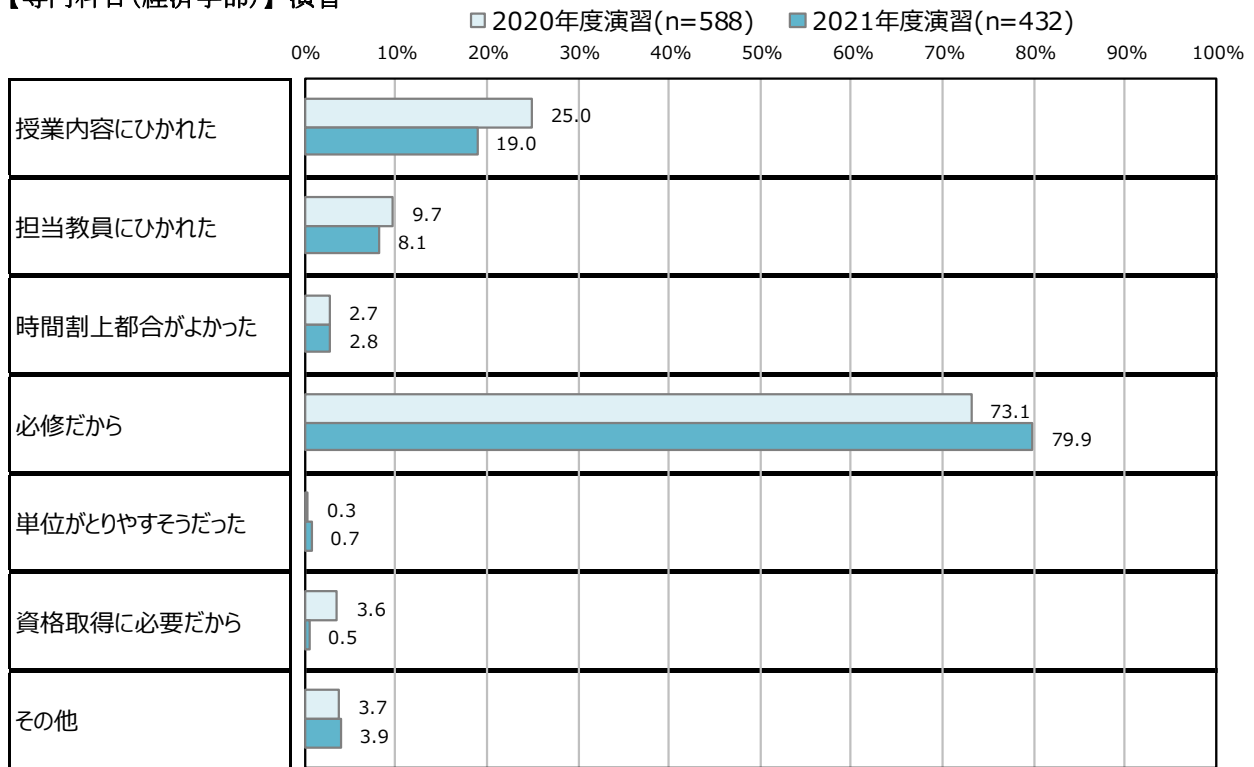
【専門科目(経済学部)】



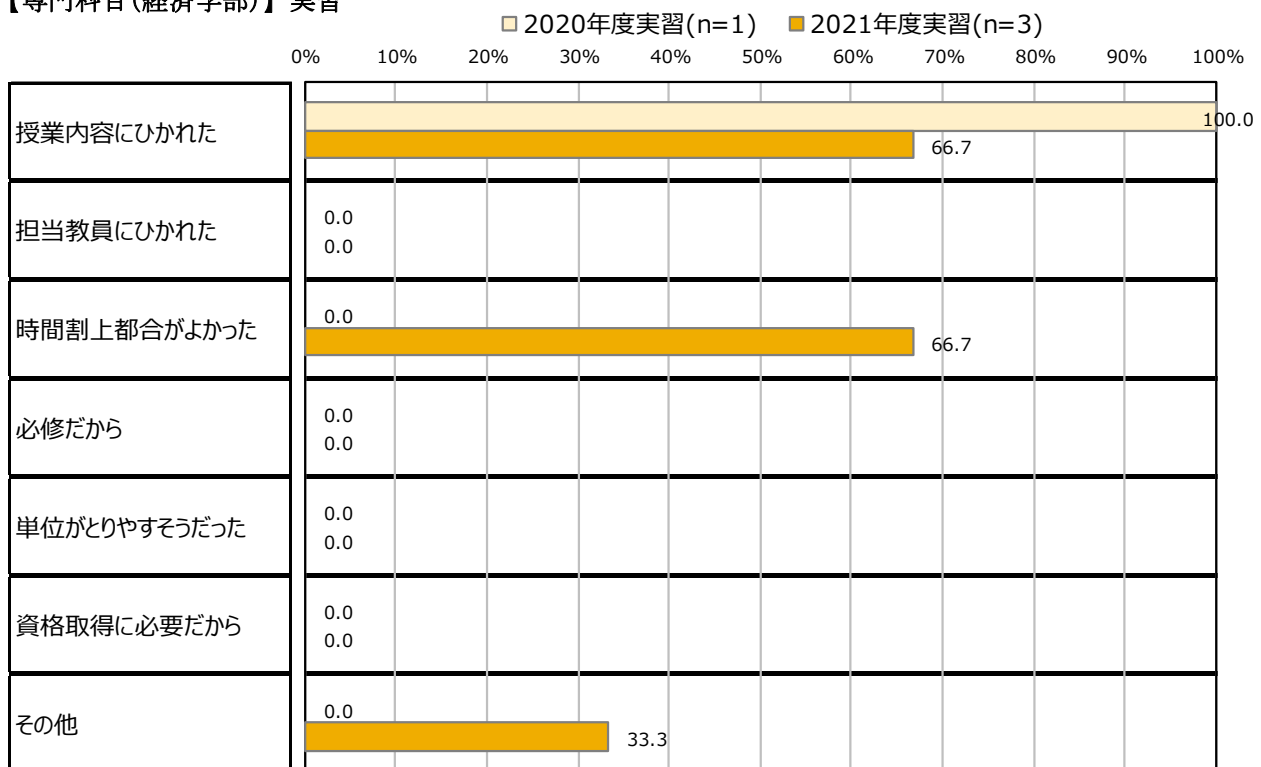
【専門科目(経済学部)】 講義



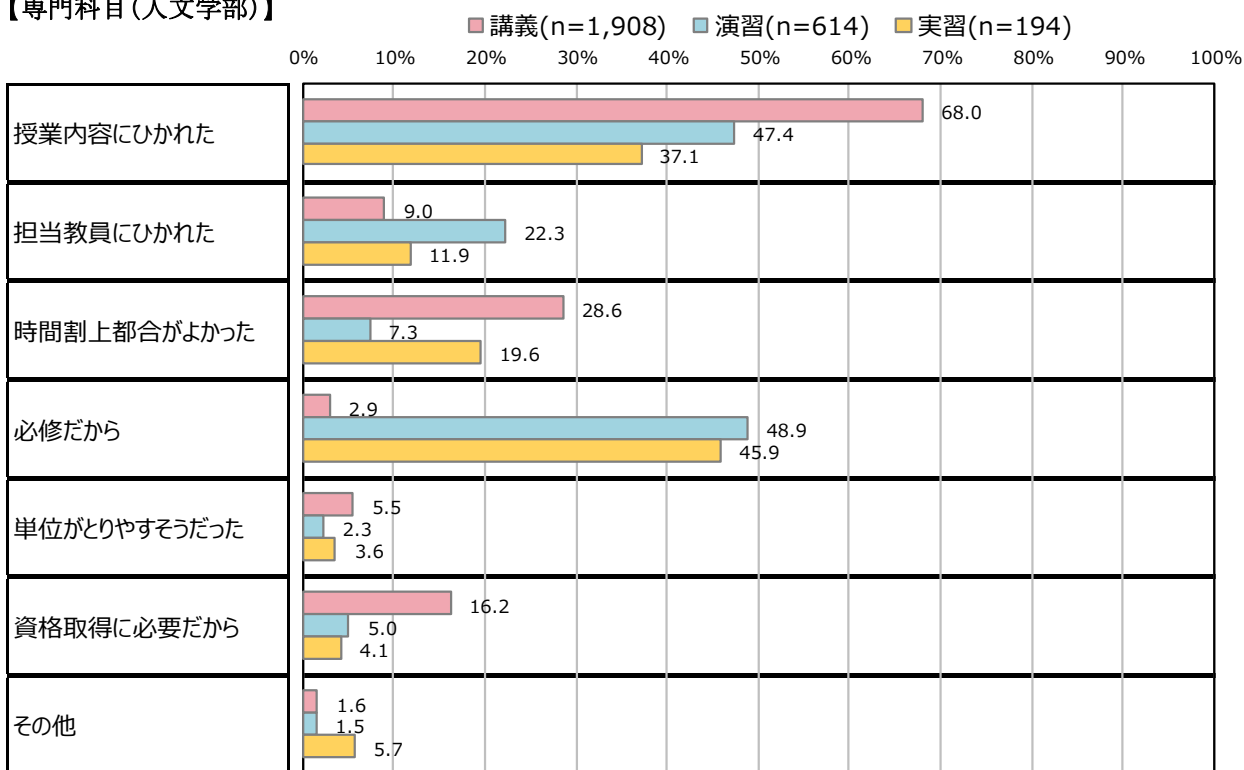
【専門科目(経済学部)】演習



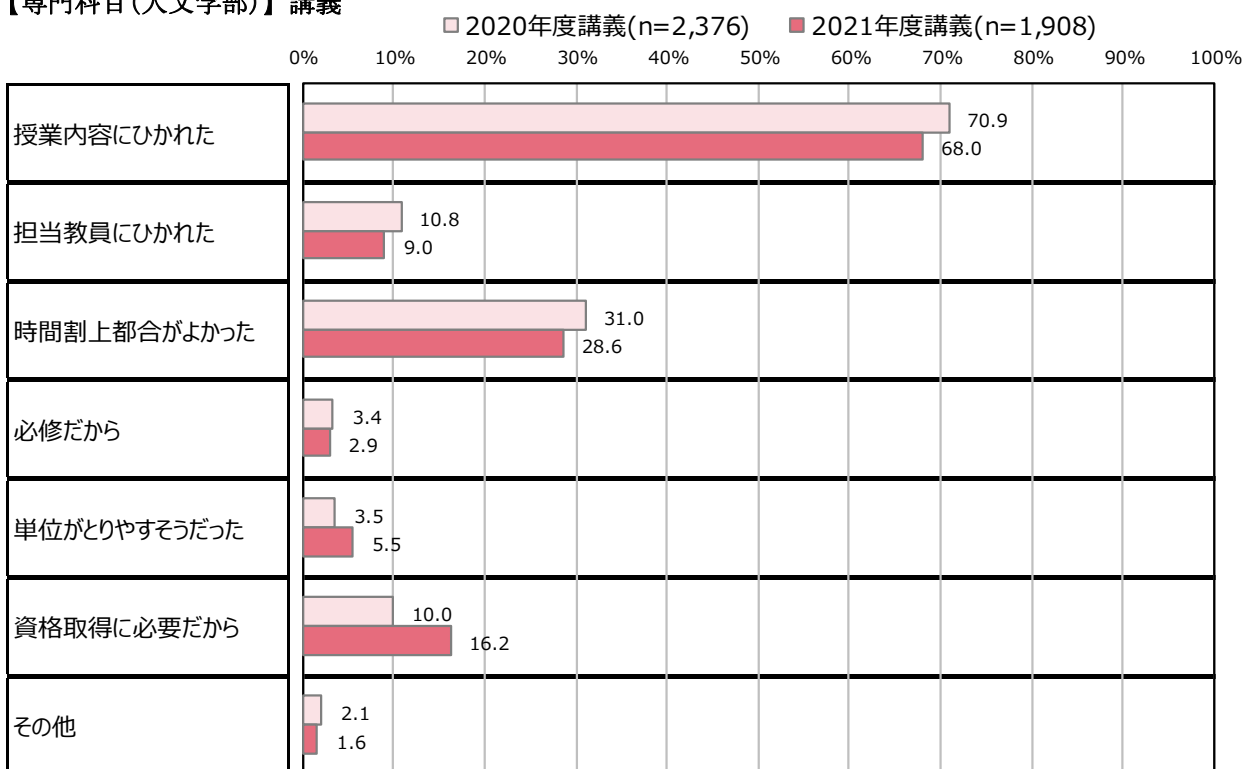
【専門科目(経済学部)】実習



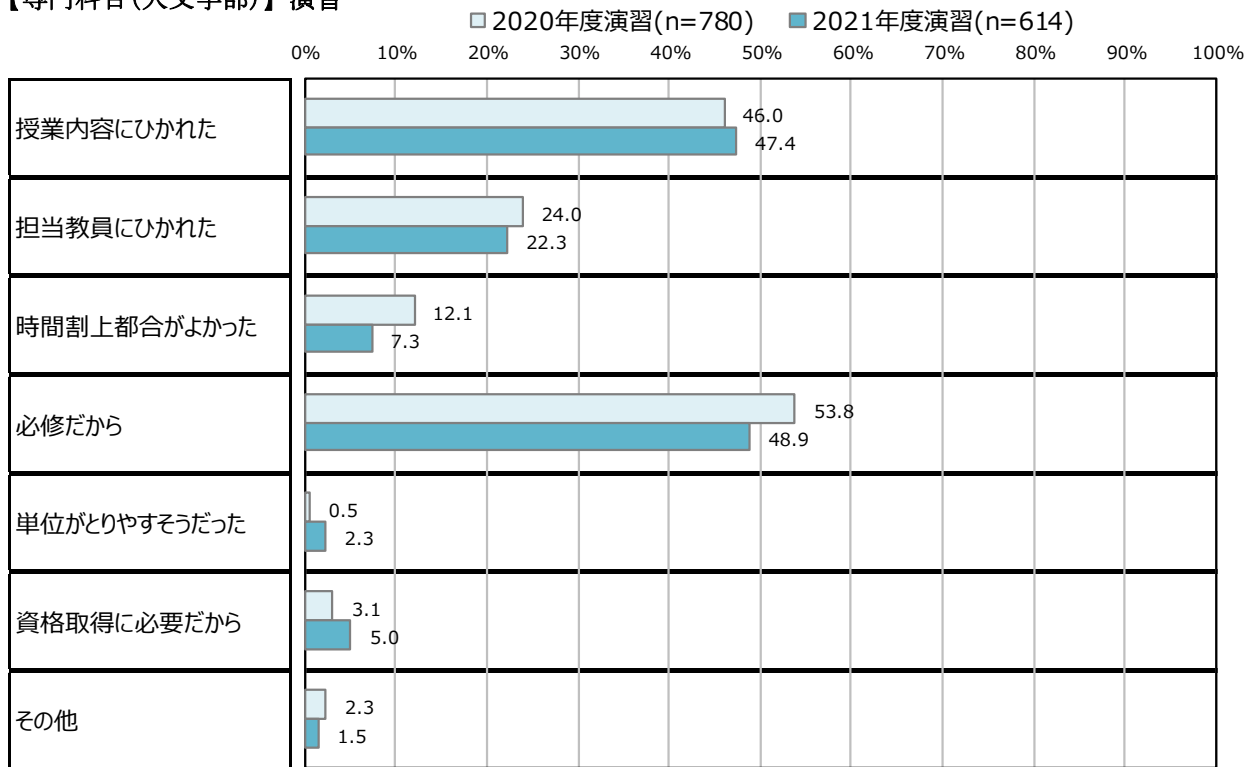
【専門科目(人文学部)】



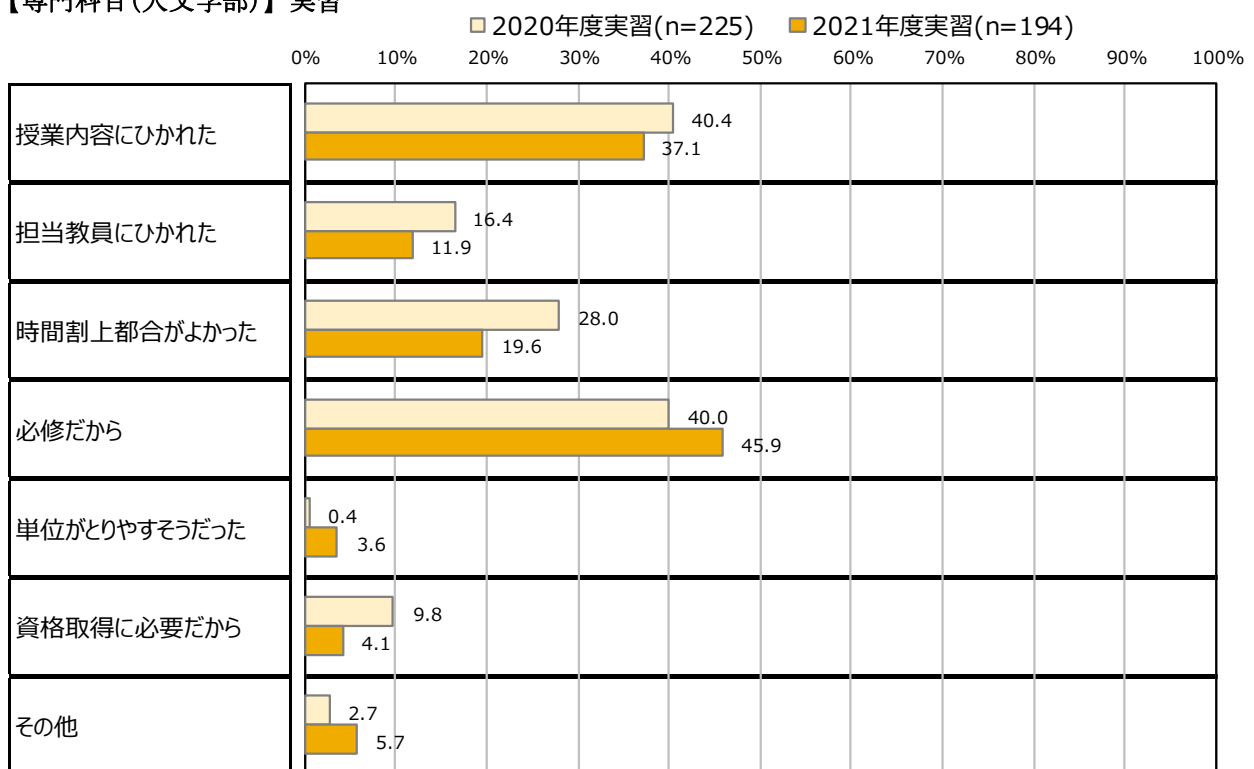
【専門科目(人文学部)】 講義



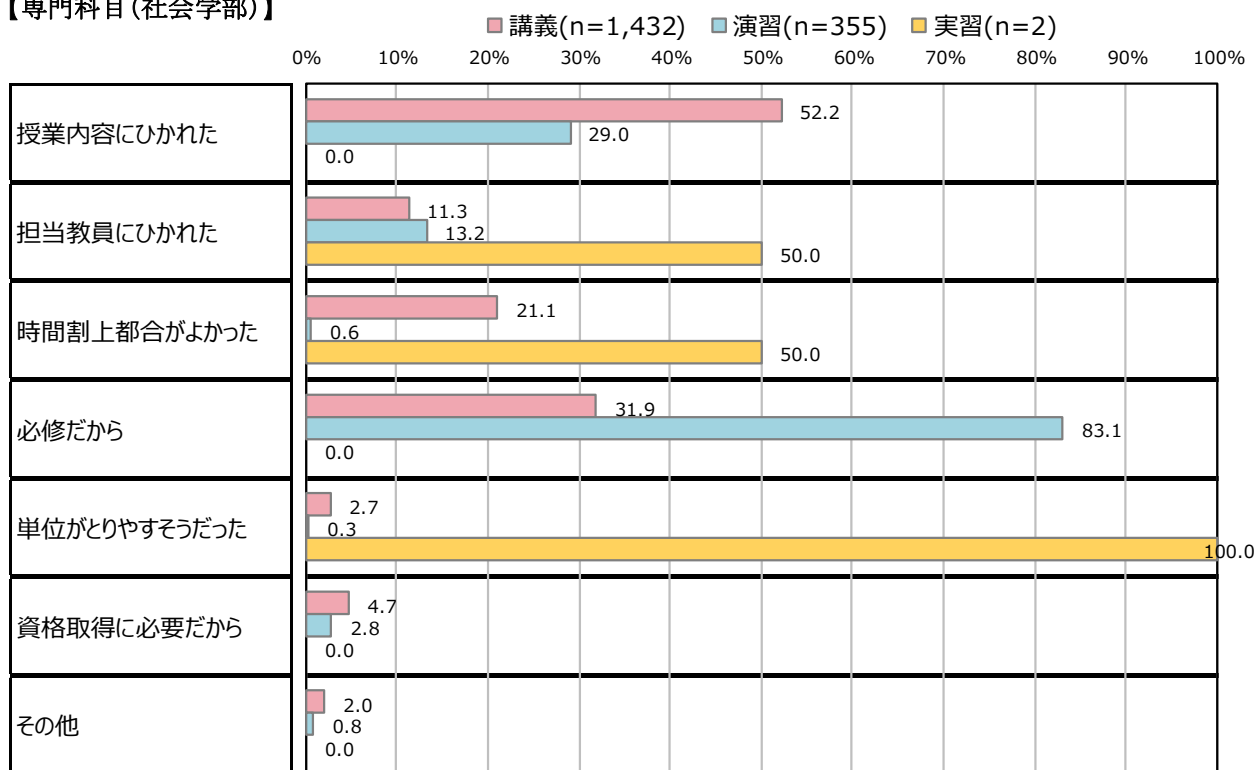
【専門科目(人文学部)】演習



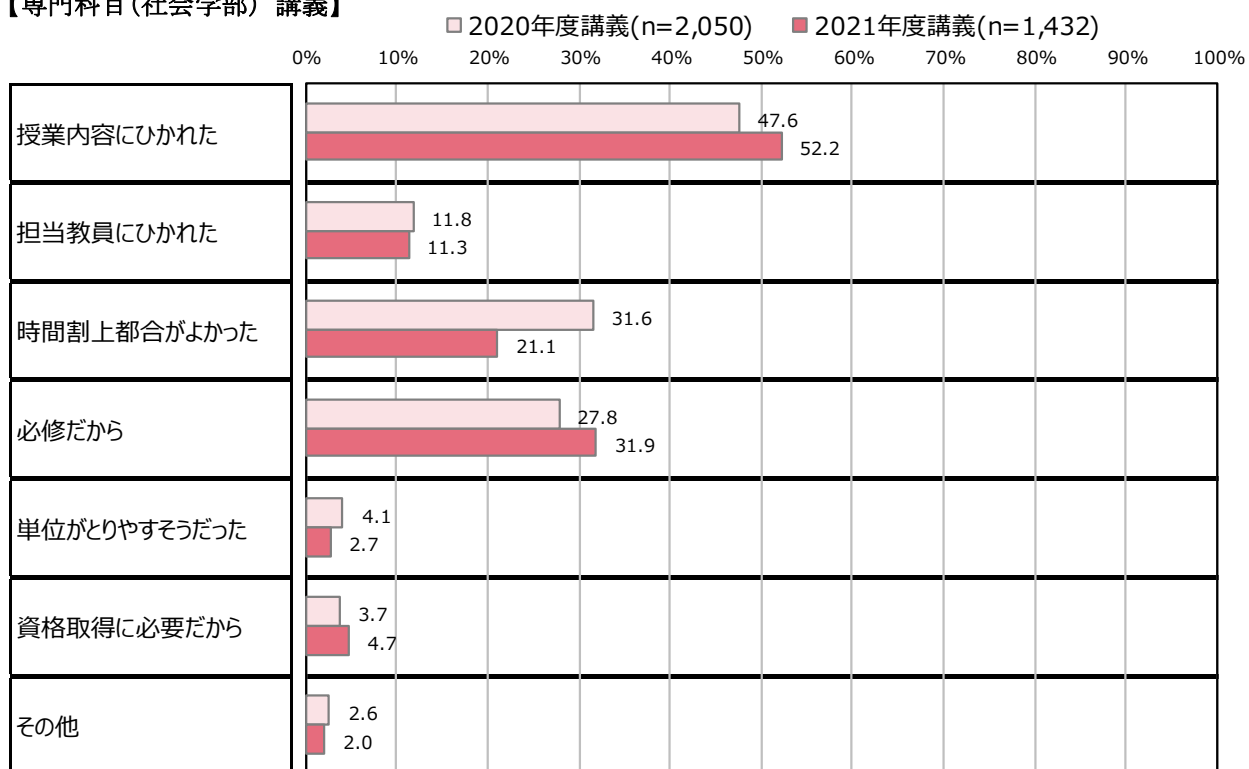
【専門科目(人文学部)】実習



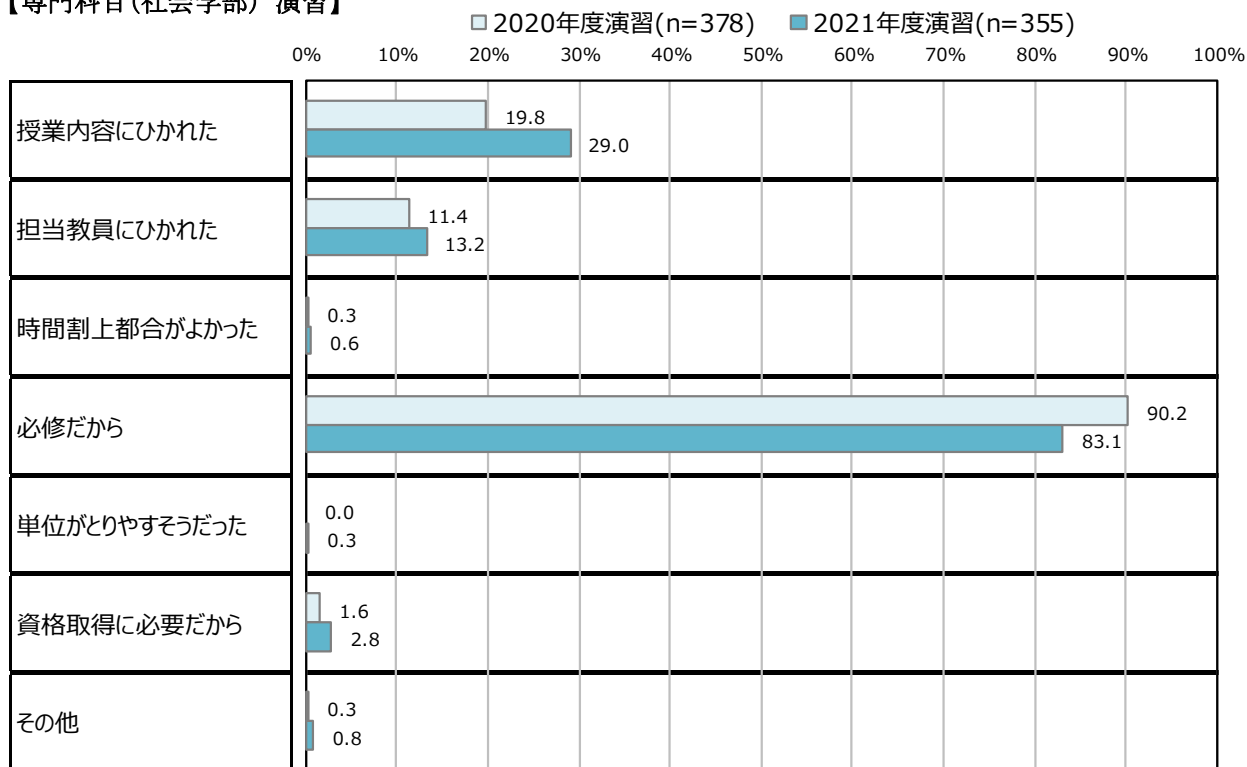
【専門科目(社会学部)】



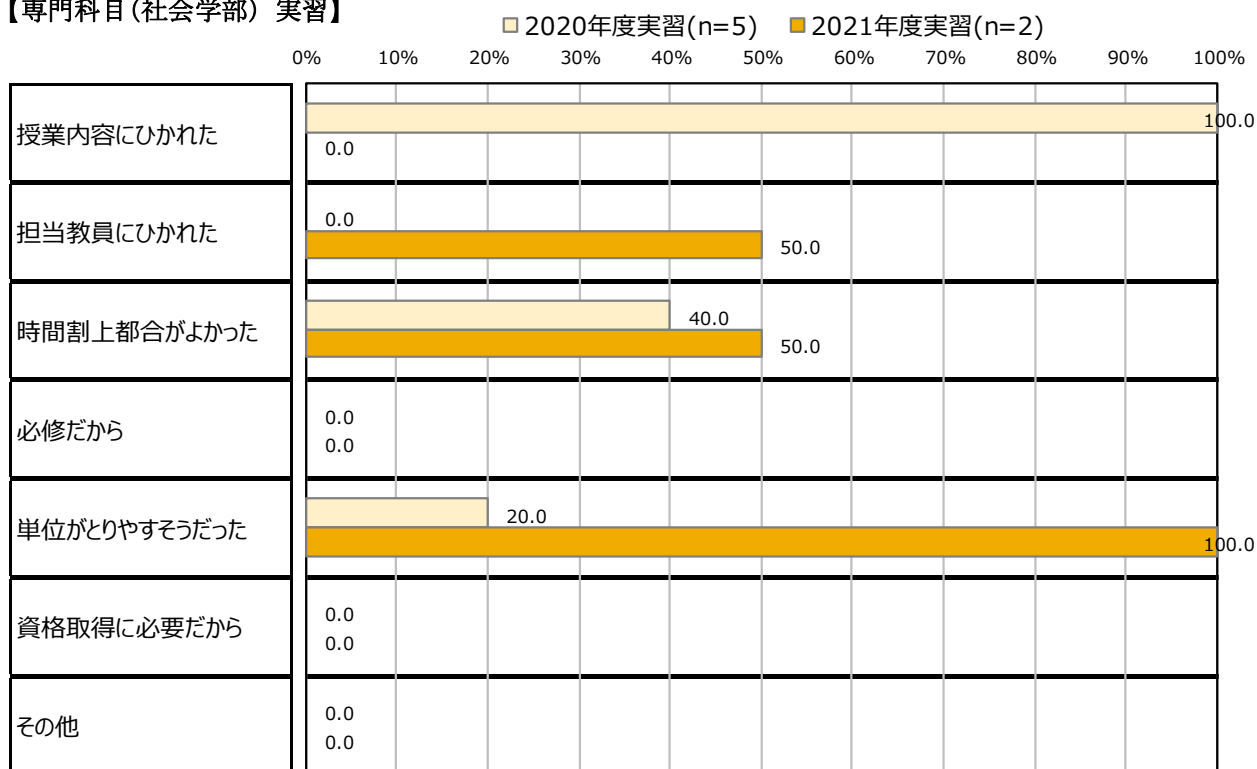
【専門科目(社会学部) 講義】



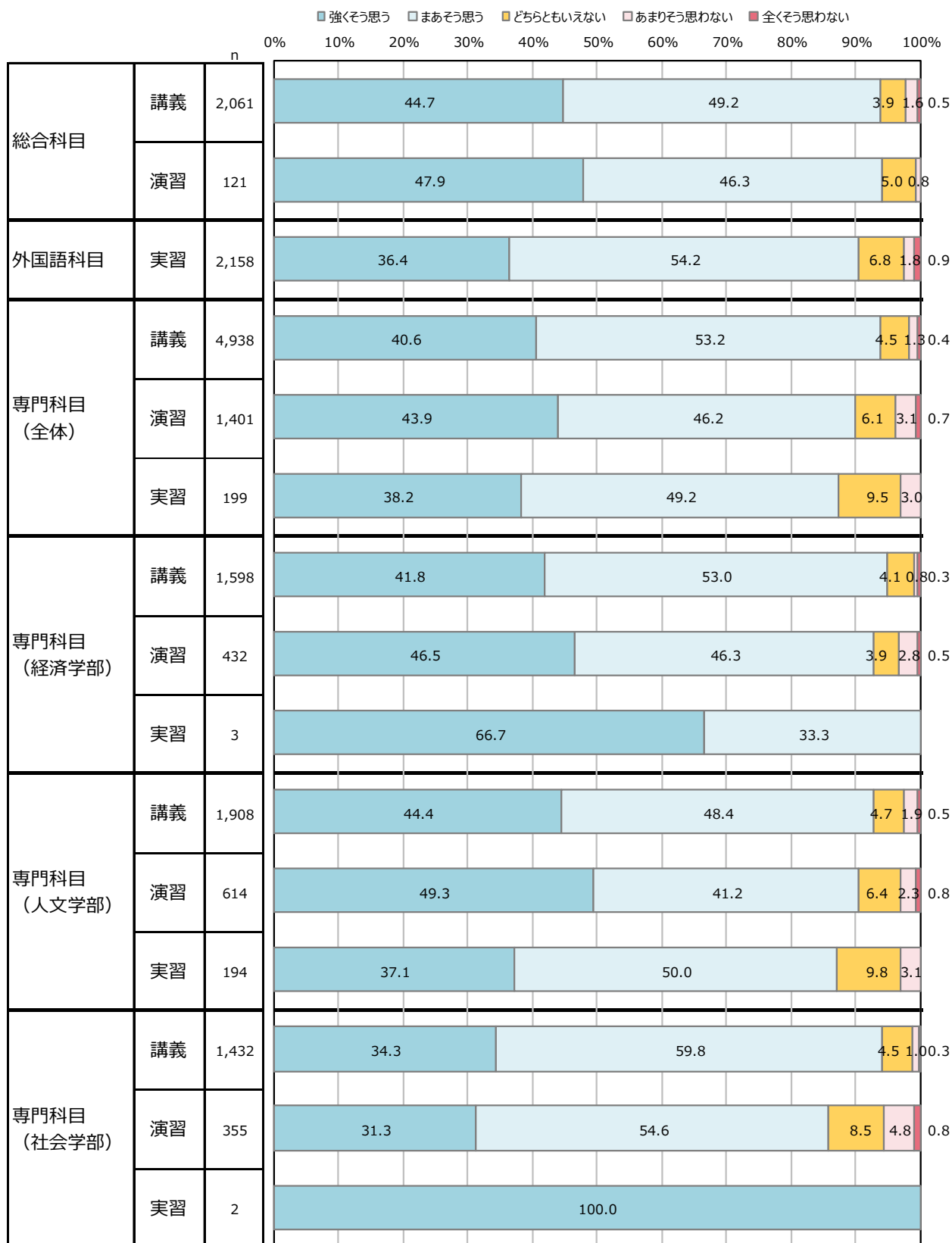
【専門科目(社会学部) 演習】



【専門科目(社会学部) 実習】

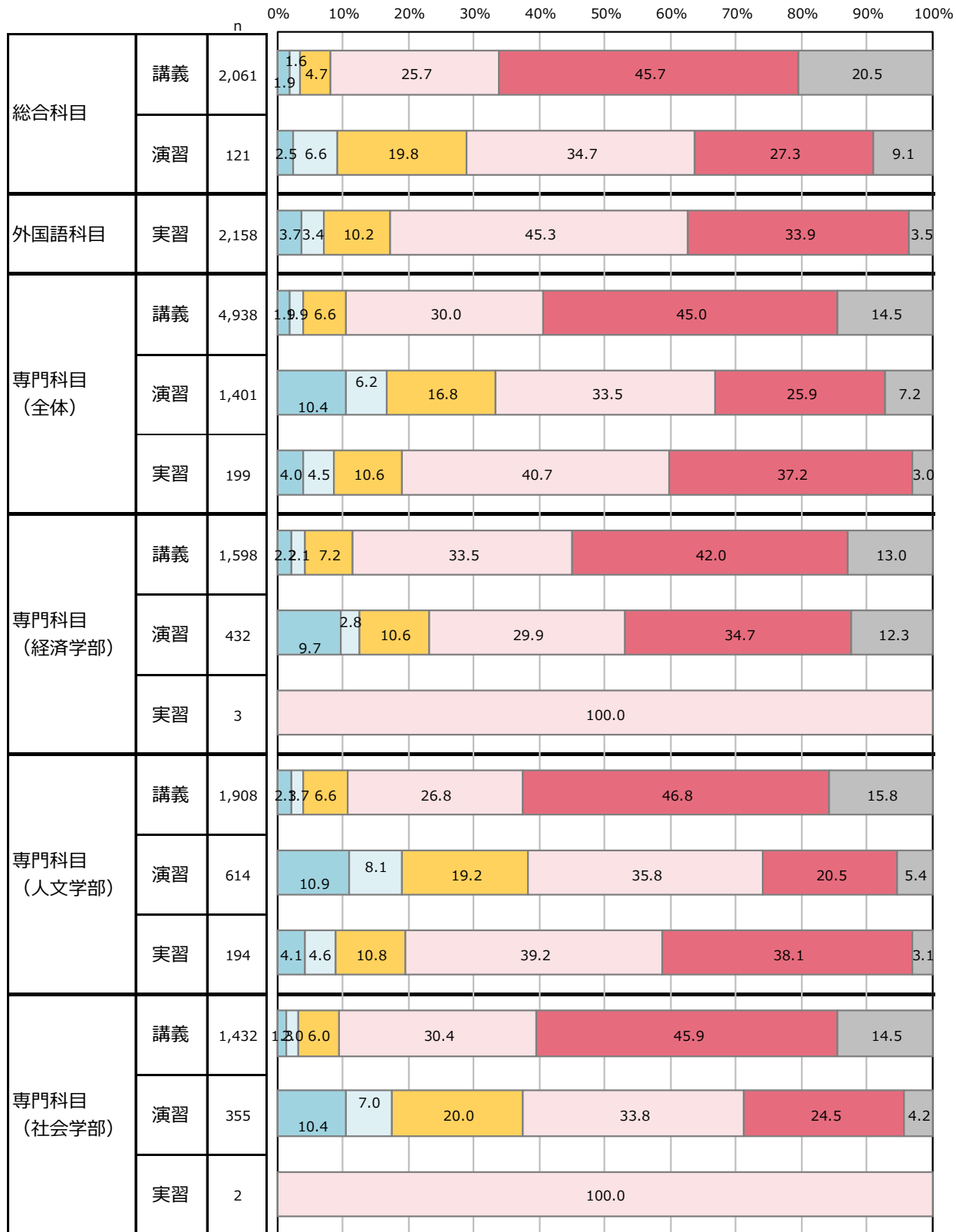


I-2. この授業はシラバスに沿って行われていたか



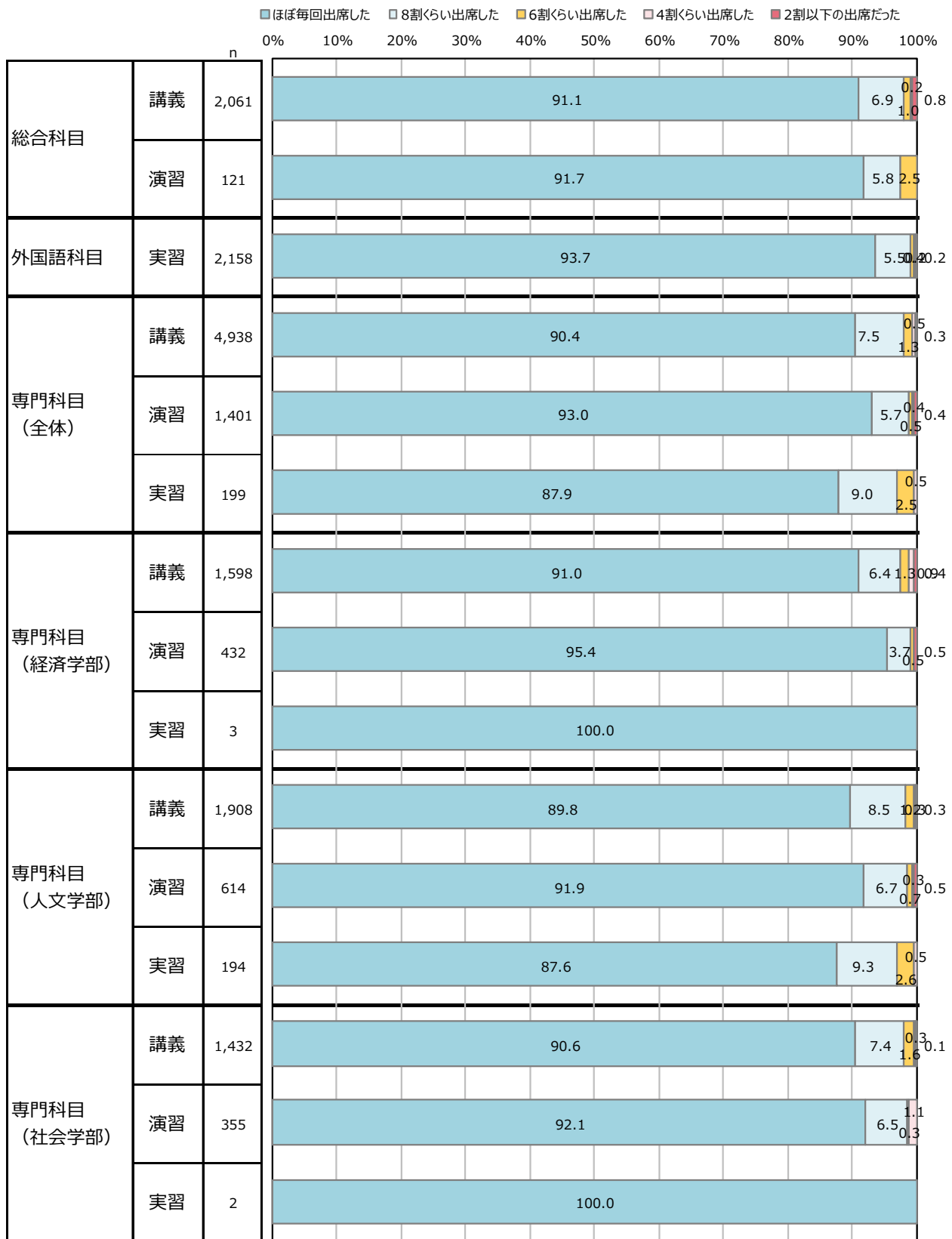
I-3. この授業に関して、予習・復習など授業外での取組みを1週間でどのくらい行ったか

■4時間以上 ■4時間未満～3時間以上 ■3時間未満～2時間以上 ■2時間未満～1時間以上 ■1時間未満 ■全くなかった



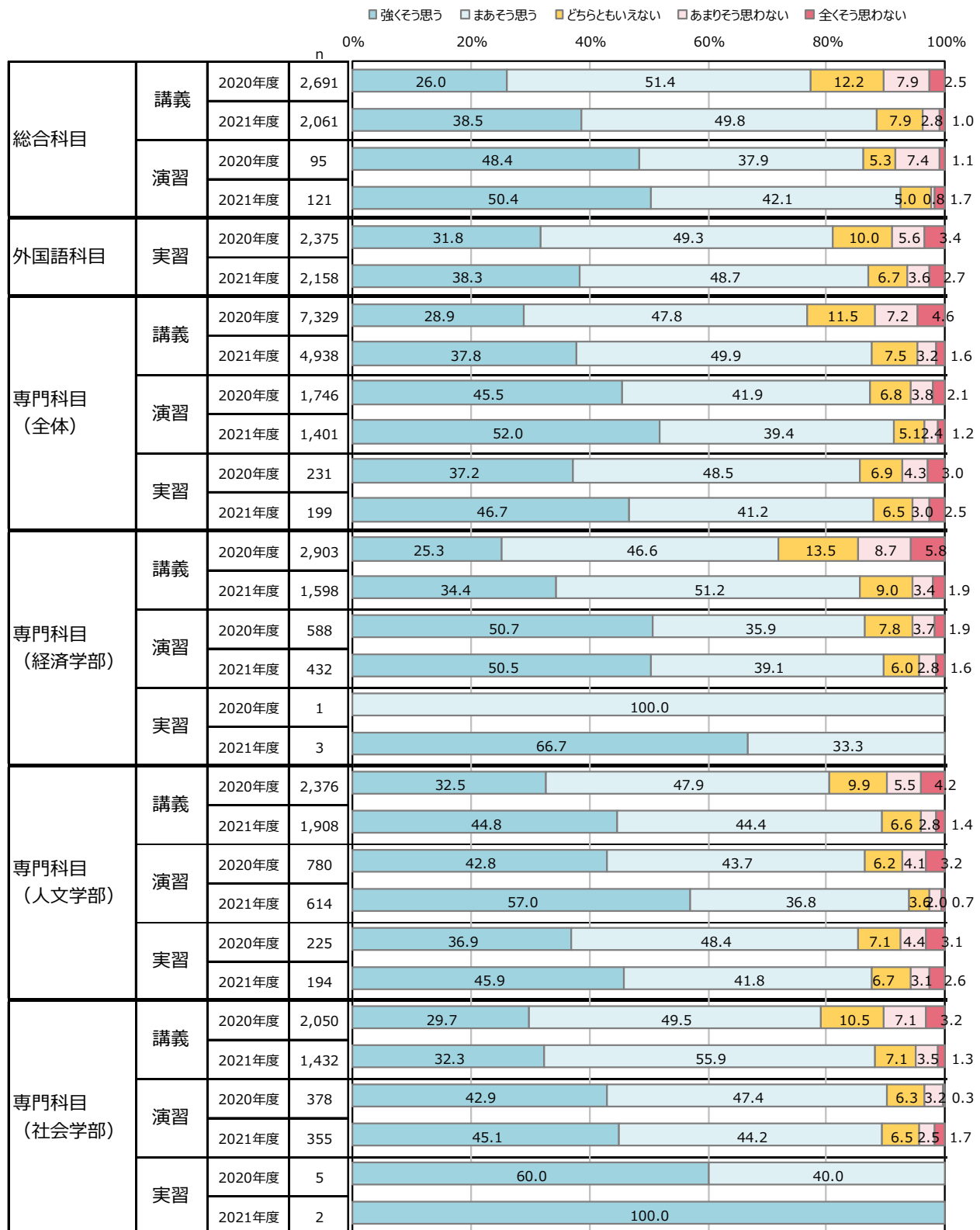
※0%は値ラベルの表示を省略

I-4. この授業にどの程度出席していたか

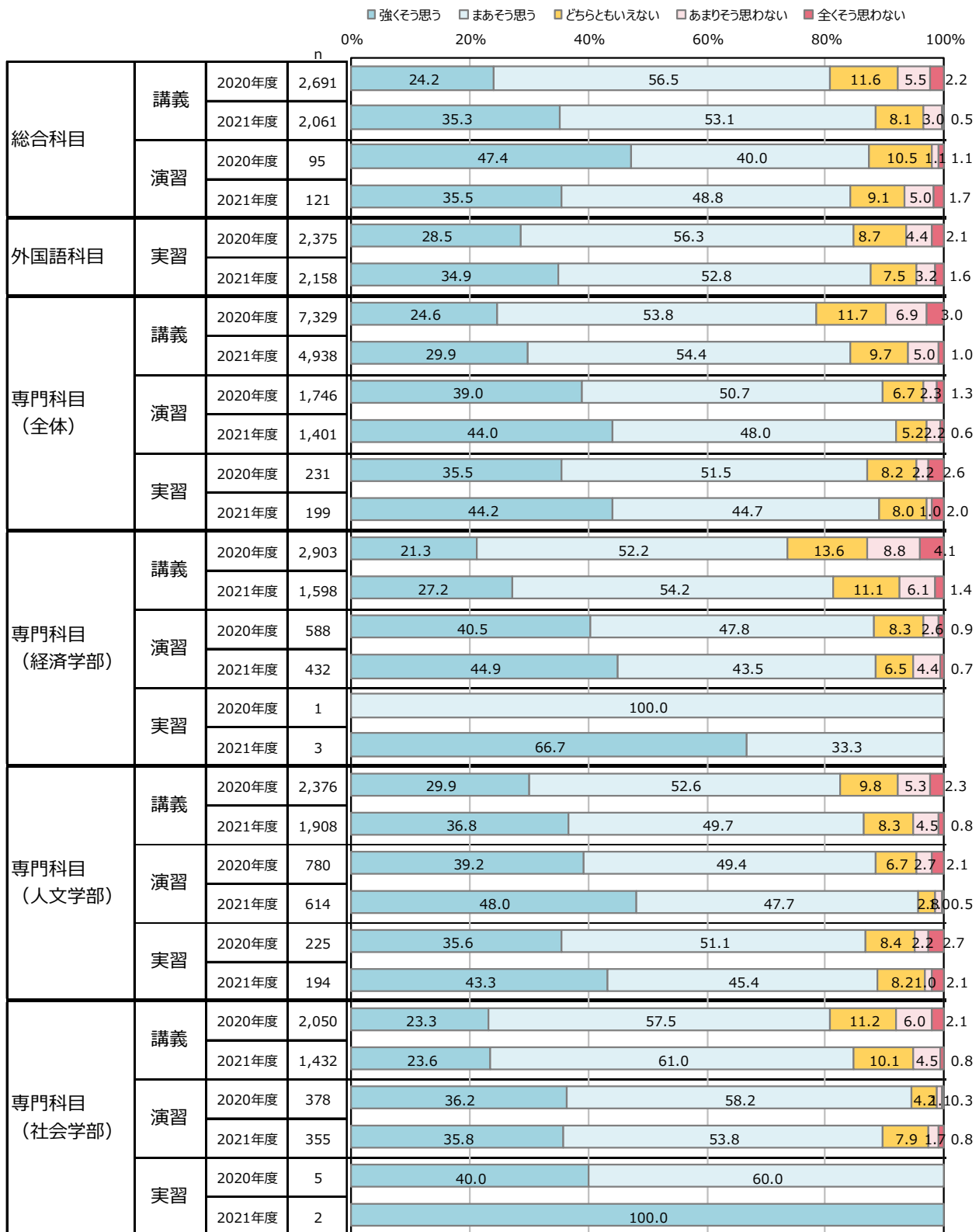


※0%は値ラベルの表示を省略

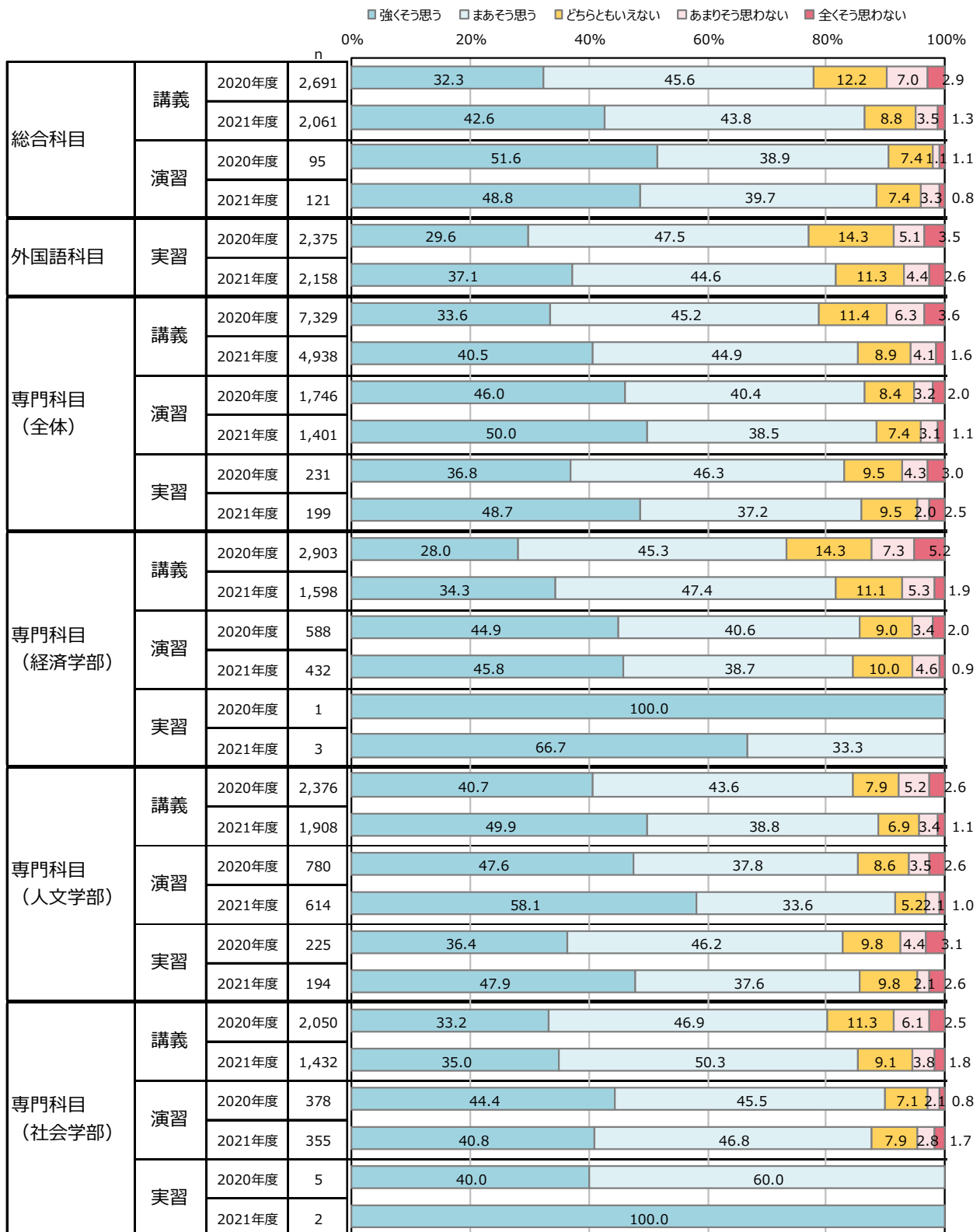
II-1. 総合的にみて、この授業は満足できたか



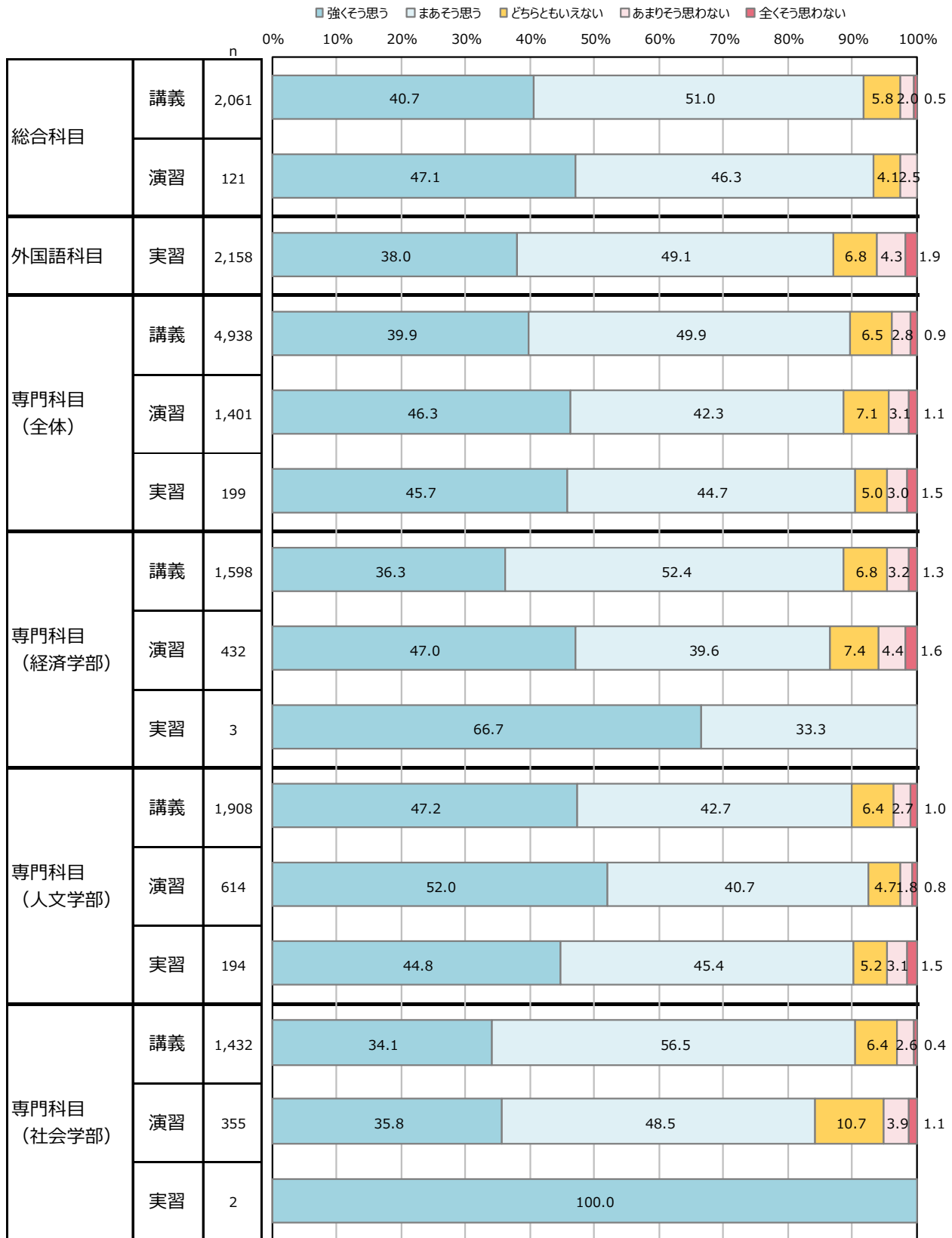
II-2. 授業内容を理解できた



II-3. 授業内容に興味を持てた

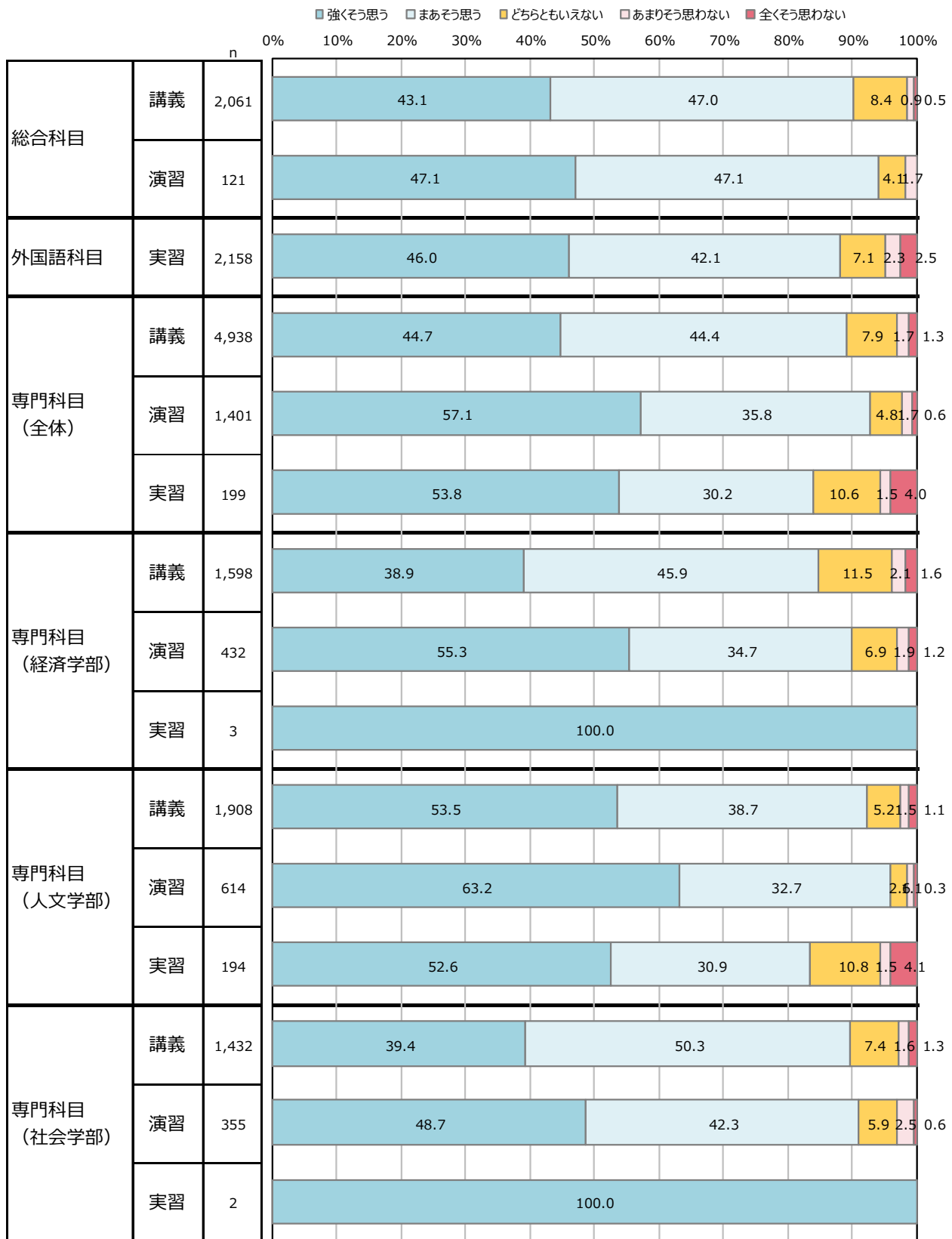


II-4. 授業の進行速度は適切だった

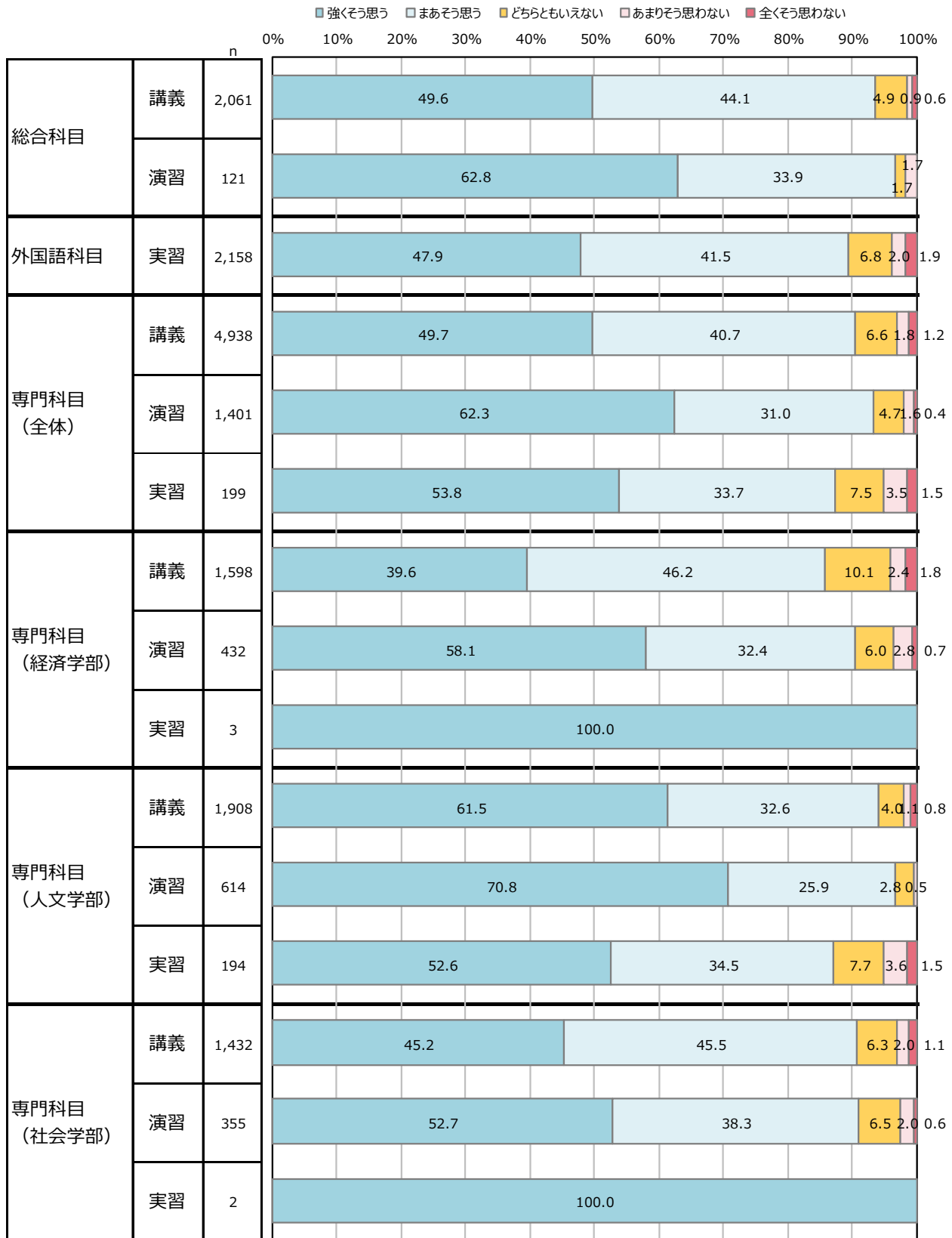


※0%は値ラベルの表示を省略

II-5. 教員は学習にふさわしい雰囲気を保つよう心がけていた



II-6. 授業に対する教員の意欲を感じた



※0%は値ラベルの表示を省略

II-7. 教員は質問や問い合わせに適切に対応してくれた

■ 強く思う □ まあそう思う ■ どちらともいえない □ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない ■ 質問や問い合わせをしなかった

		n		0%	20%	40%	60%	80%	100%
総合科目	講義	2020年度	2,691	28.3	39.7	14.2	4.0	2.1	11.7
		2021年度	2,061	25.7	31.7	5.2	0.6	1.8	34.9
	演習	2020年度	95	56.8	30.5	7.4	1.1	14.2	
		2021年度	121	47.1	38.8	1.7	12.4		
外国語科目	実習	2020年度	2,375	37.4	41.1	9.6	3.2	2.1	8.9
		2021年度	2,158	38.4	31.5	4.5	1.0	22.8	
専門科目 (全体)	講義	2020年度	7,329	31.5	36.2	12.3	3.4	3.6	13.0
		2021年度	4,938	33.7	29.8	5.4	0.9	1.3	28.9
	演習	2020年度	1,746	56.5	31.9	4.9	1.6	3.8	
		2021年度	1,401	58.2	27.4	3.0	0.4	10.1	
	実習	2020年度	231	38.5	39.4	9.5	2.2	1.3	9.1
		2021年度	199	45.7	27.6	5.5	1.0	3.0	17.1
専門科目 (経済学部)	講義	2020年度	2,903	25.8	34.5	15.1	4.1	5.0	15.6
		2021年度	1,598	27.6	28.2	7.1	1.1	3.1	34.7
	演習	2020年度	588	58.0	27.9	5.6	1.5	4.6	
		2021年度	432	56.7	25.0	4.2	0.9	1.9	11.3
	実習	2020年度	1	100.0					
		2021年度	3	100.0					
専門科目 (人文学部)	講義	2020年度	2,376	34.4	36.0	10.9	3.2	3.3	13.4
		2021年度	1,908	42.0	27.9	4.2	0.4	23.8	
	演習	2020年度	780	54.4	33.6	4.2	2.1	3.3	
		2021年度	614	63.0	24.8	2.0	0.3	9.6	
	実習	2020年度	225	38.2	39.1	9.8	2.2	1.3	9.3
		2021年度	194	44.3	28.4	5.7	1.0	3.1	17.5
専門科目 (社会学部)	講義	2020年度	2,050	36.1	38.8	10.1	3.0	3.3	8.7
		2021年度	1,432	29.3	34.1	5.2	1.0	1.4	29.0
	演習	2020年度	378	58.7	34.7	4.0	0.5	9.9	
		2021年度	355	51.8	34.9	3.1	0.3	9.3	
	実習	2020年度	5	60.0	40.0				
		2021年度	2	100.0					

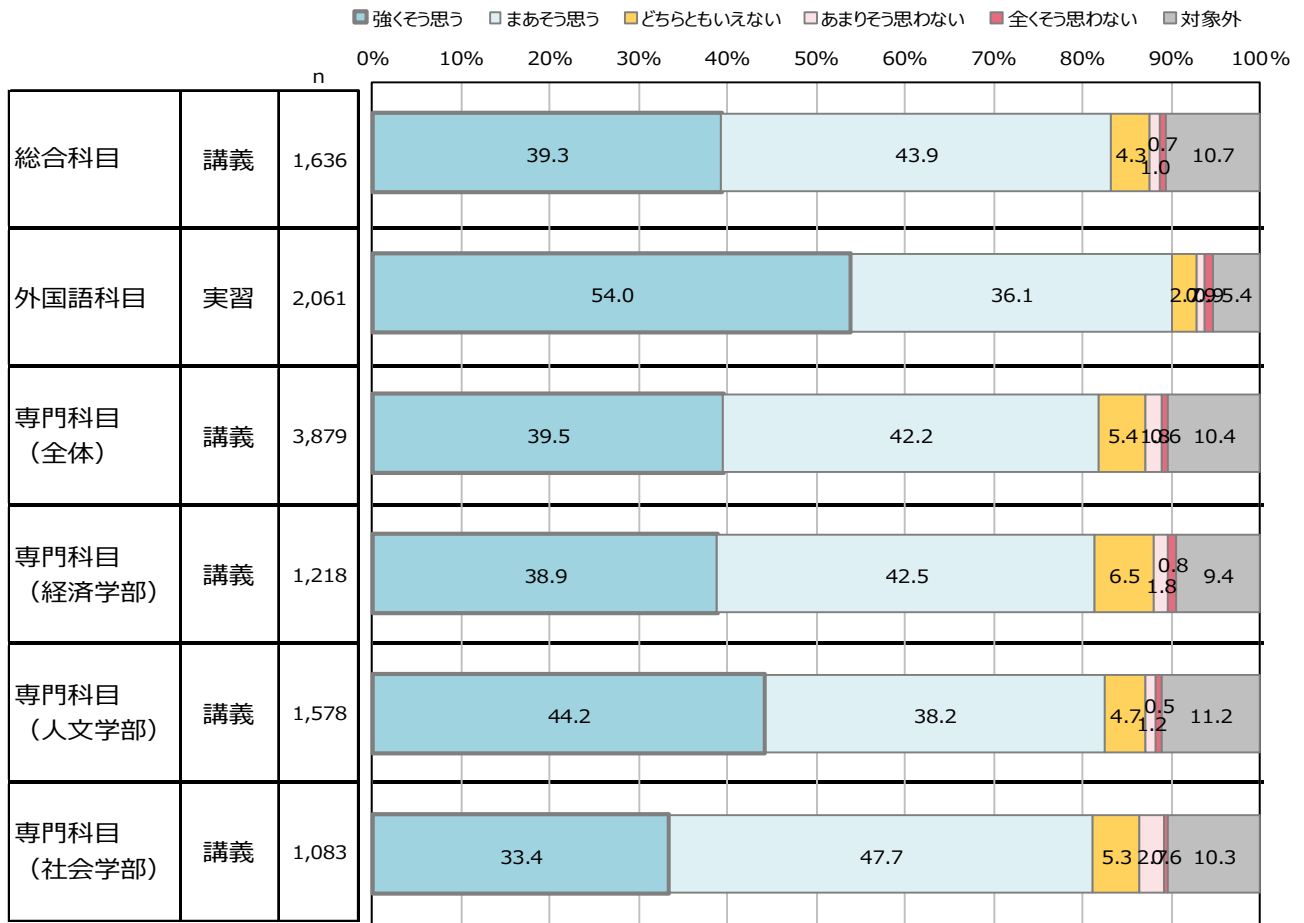
II-8. この授業を特に優れた授業として他の学生に勧めたい



※0%は値ラベルの表示を省略

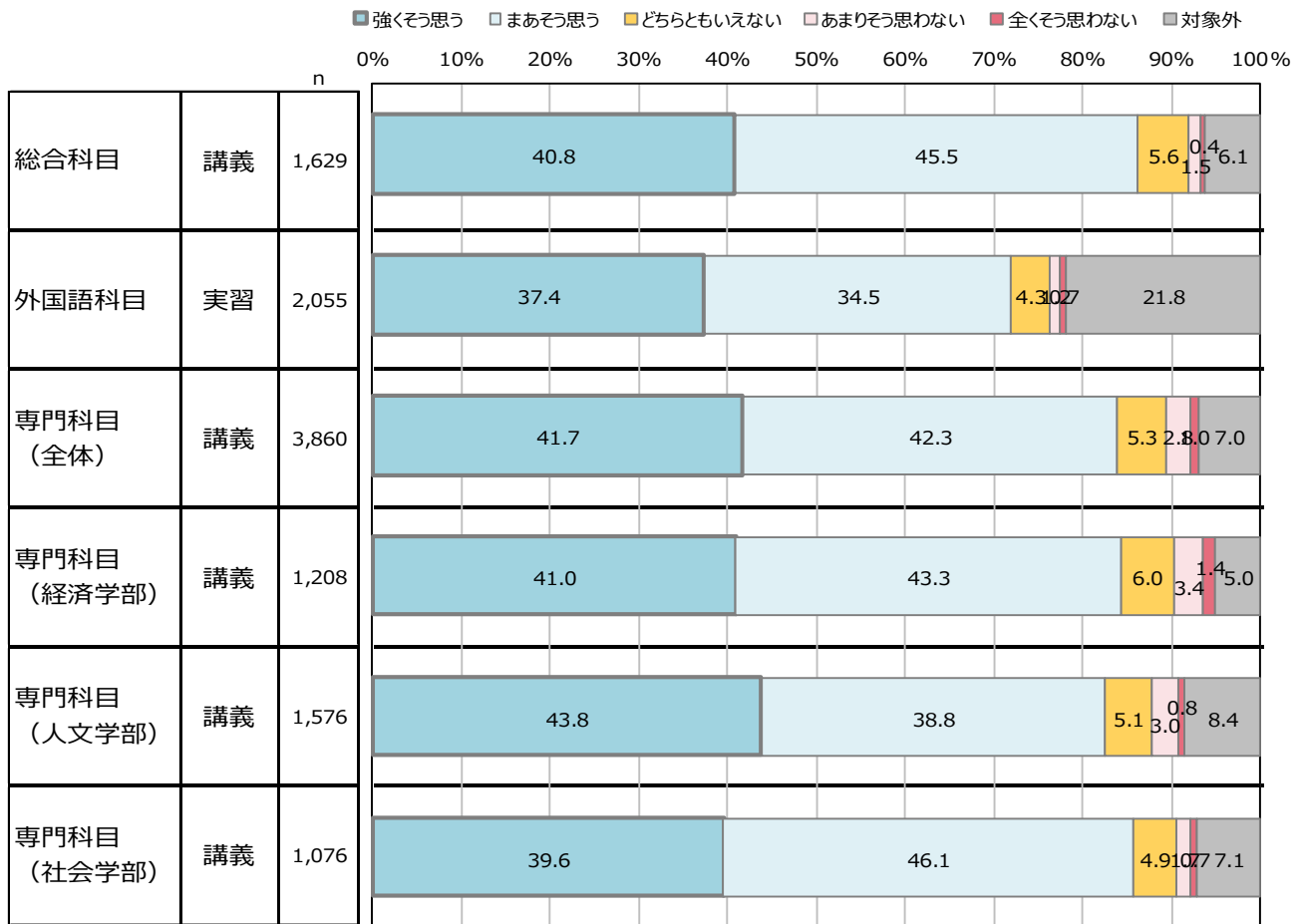
II-A-1. 教科書・配付資料などは効果的に使われていた

※「講義」または「実習(外国語)」のみ集計対象



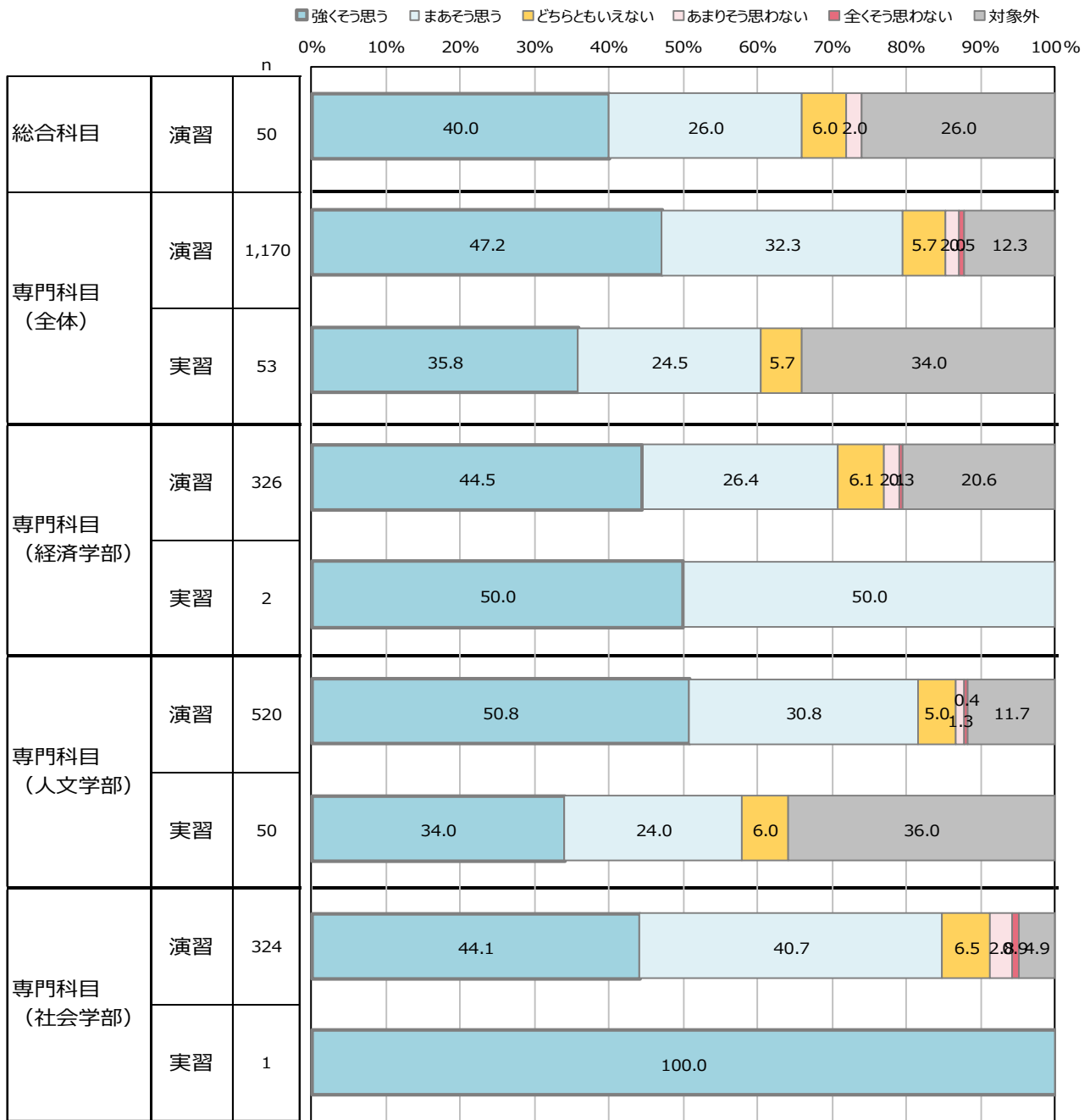
II-A-2. 配付資料などの文字は読みやすく書かれていた

※「講義」または「実習(外国語)」のみ集計対象



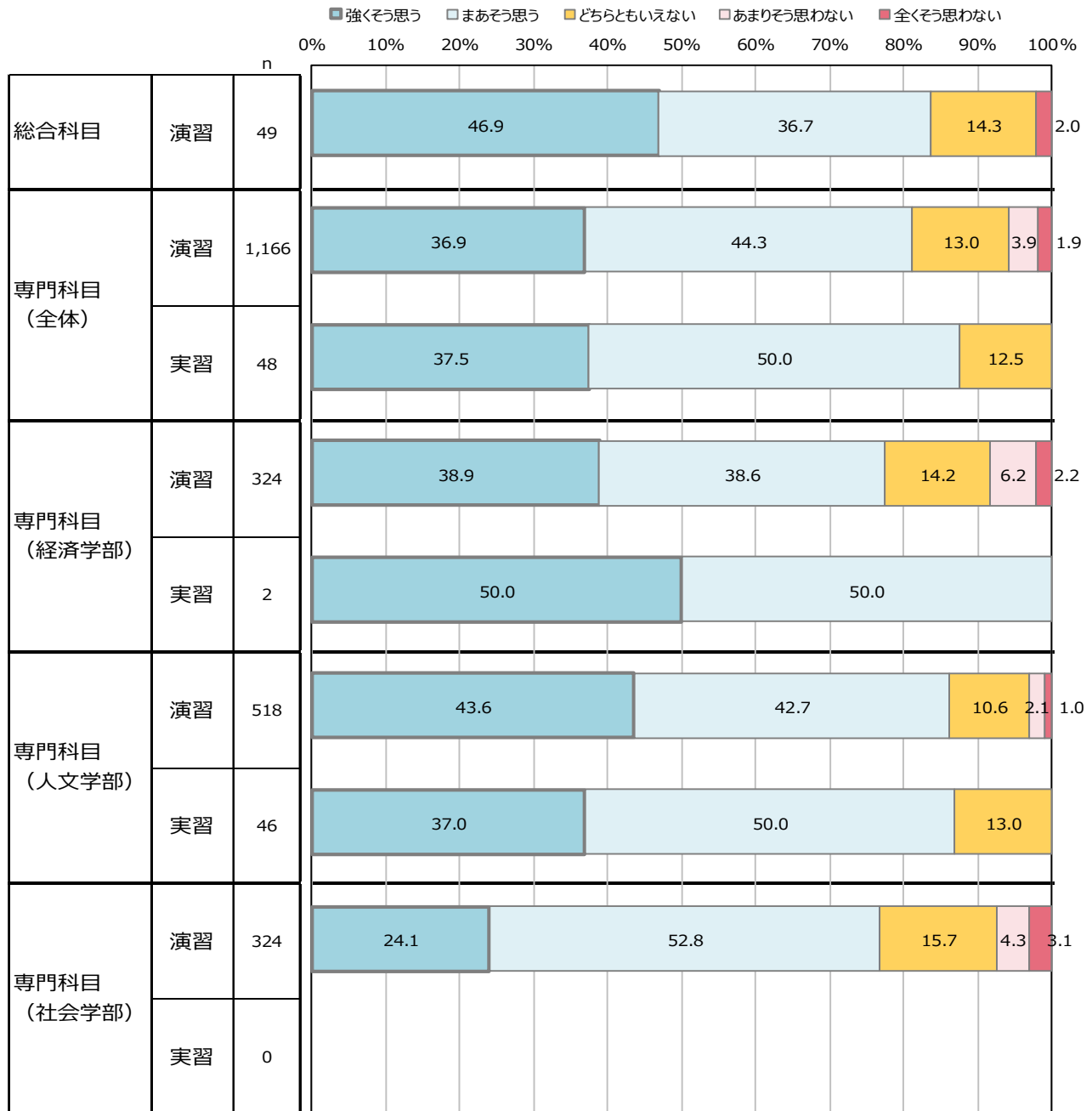
II-B-1. 教員は報告や討論の仕方について指導してくれた

※「演習」または「実習」のみ集計対象



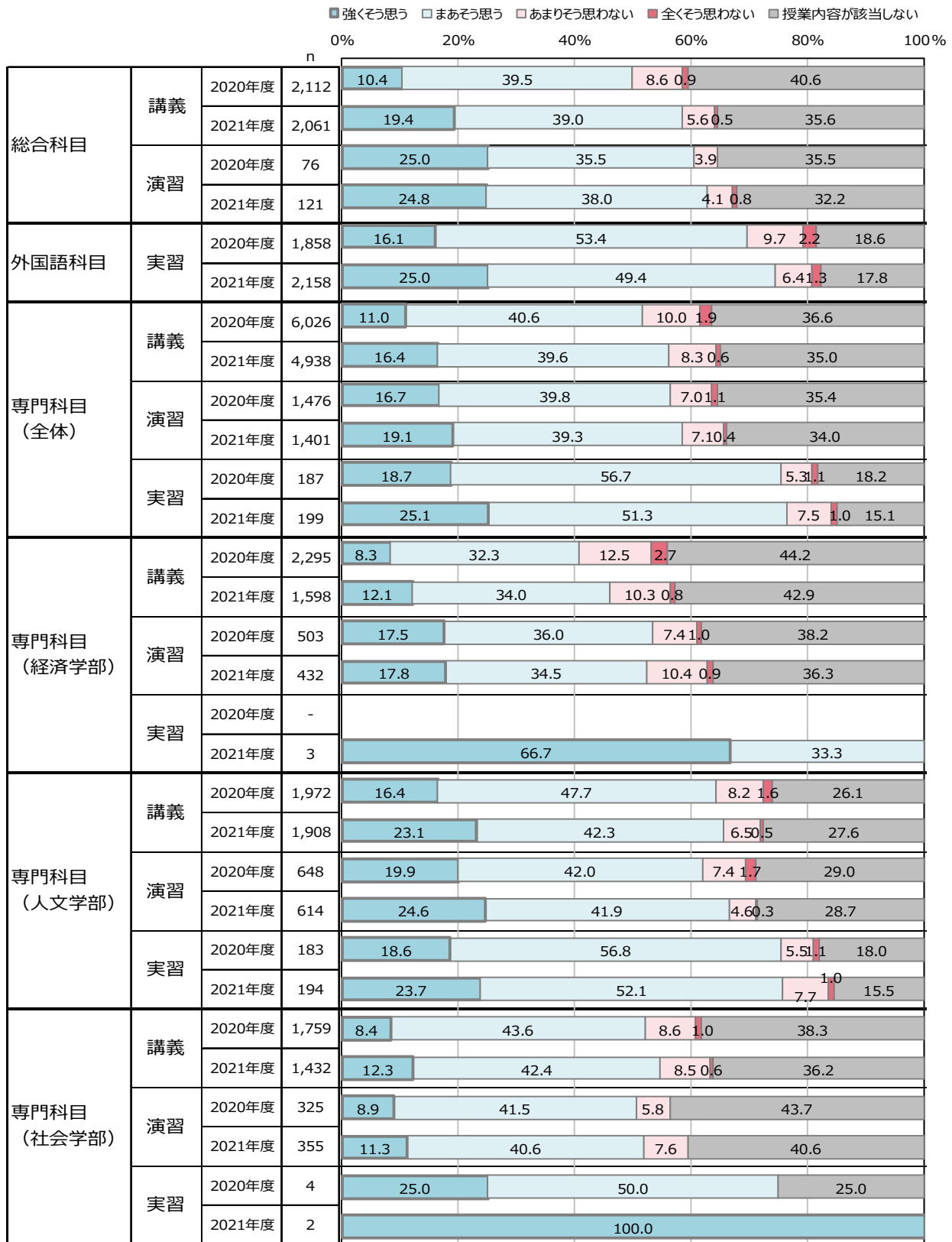
II-B-2. 「自ら調べ自ら考える」ことが楽しくなった

※「演習」または「実習」のみ集計対象

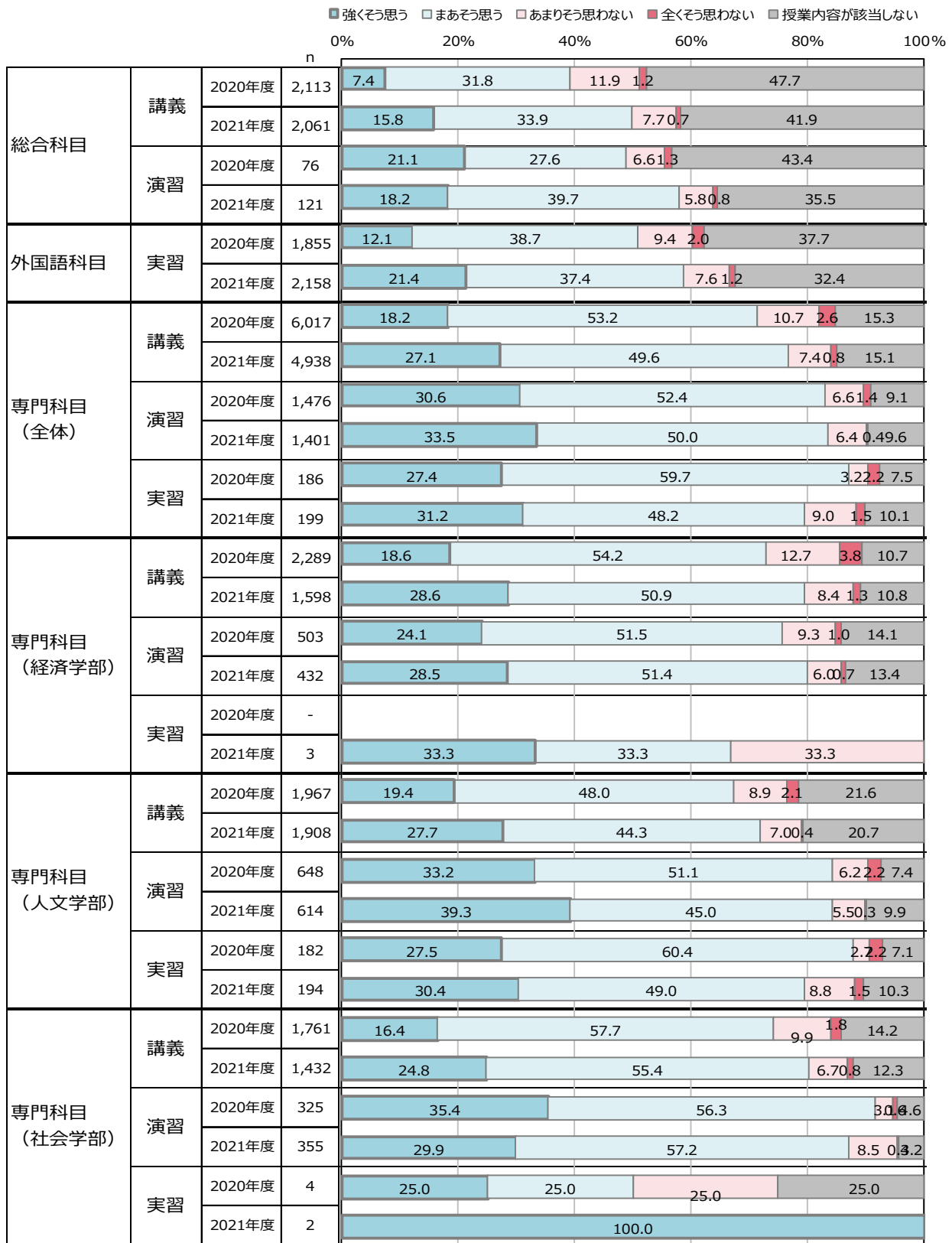


※0%は値ラベルの表示を省略

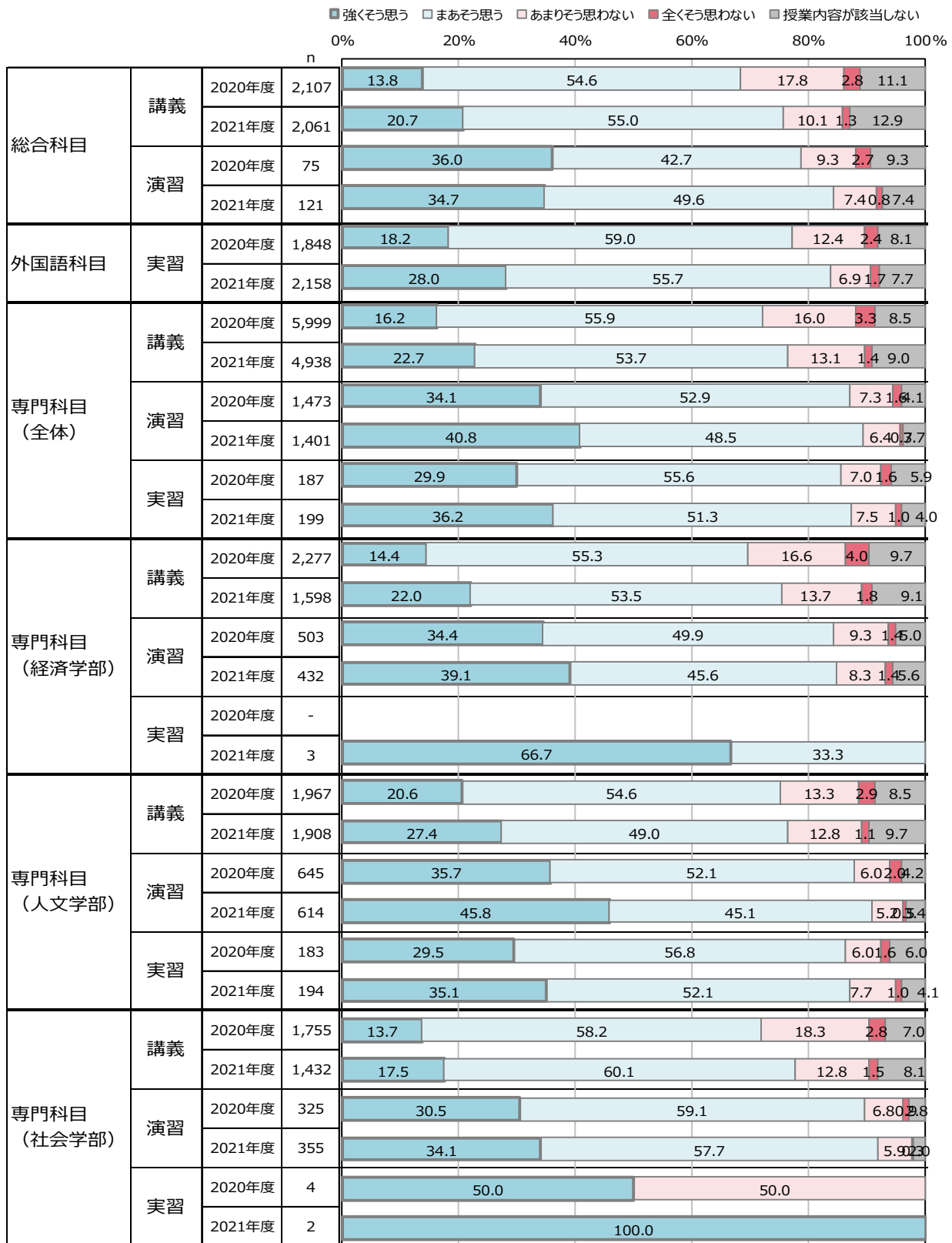
Ⅲ-1. グローバル市民として生きていくのに有益な幅広い教養が身についた



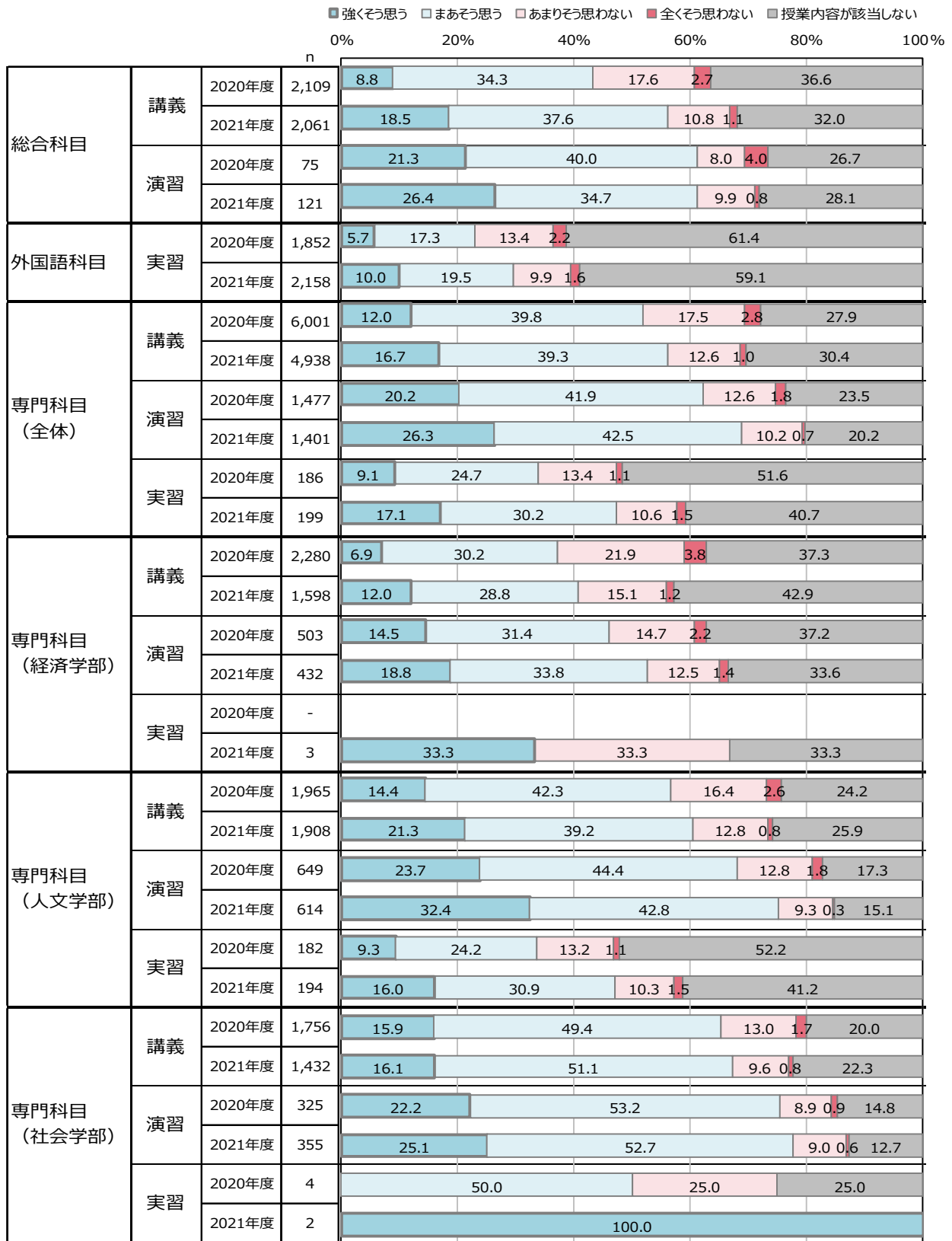
Ⅲ-2. 自身の専攻分野に関する十分な知識が身についた



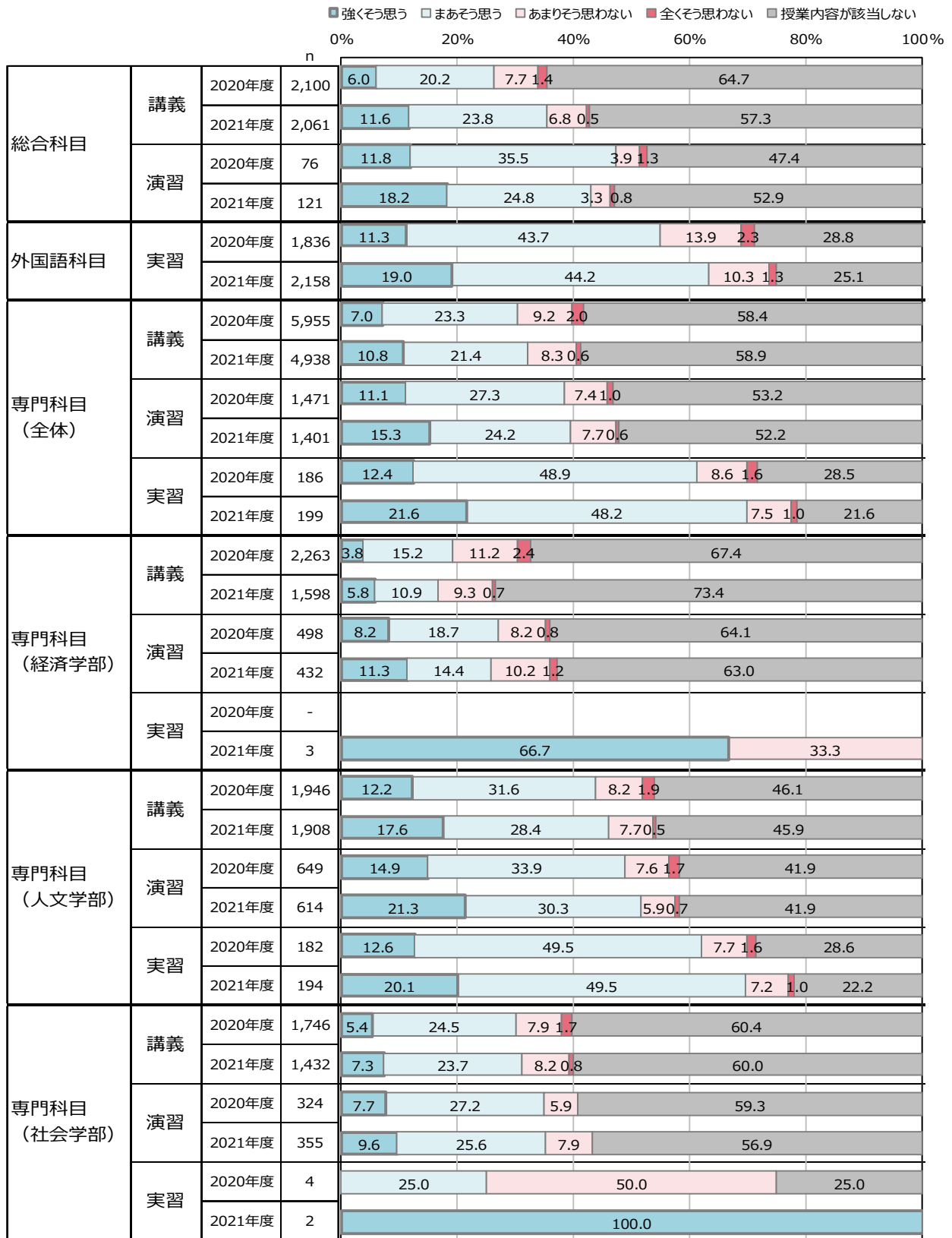
Ⅲ-3. 主体的な学習態度が身についた



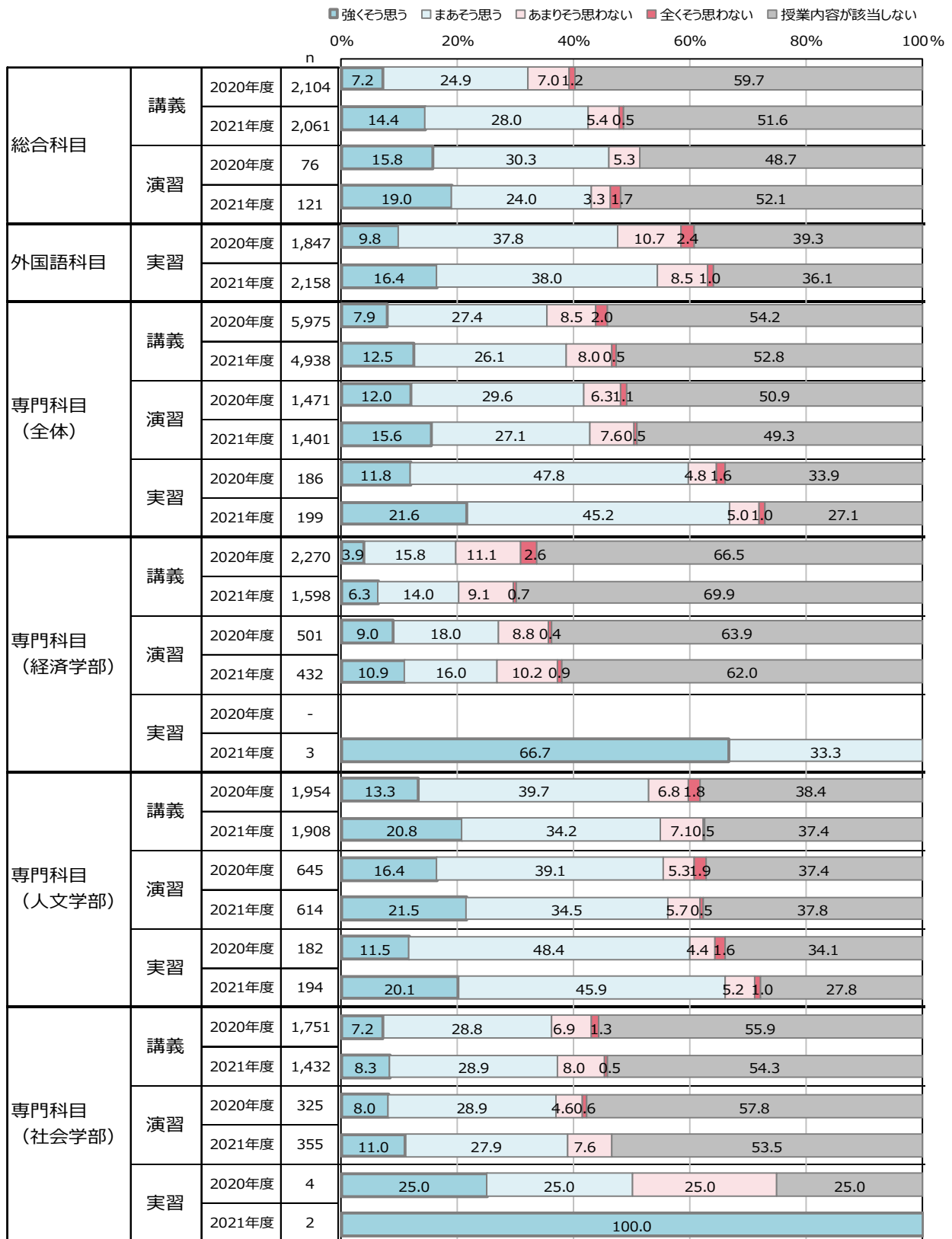
Ⅲ-4. 批判的なものの見方が身についた



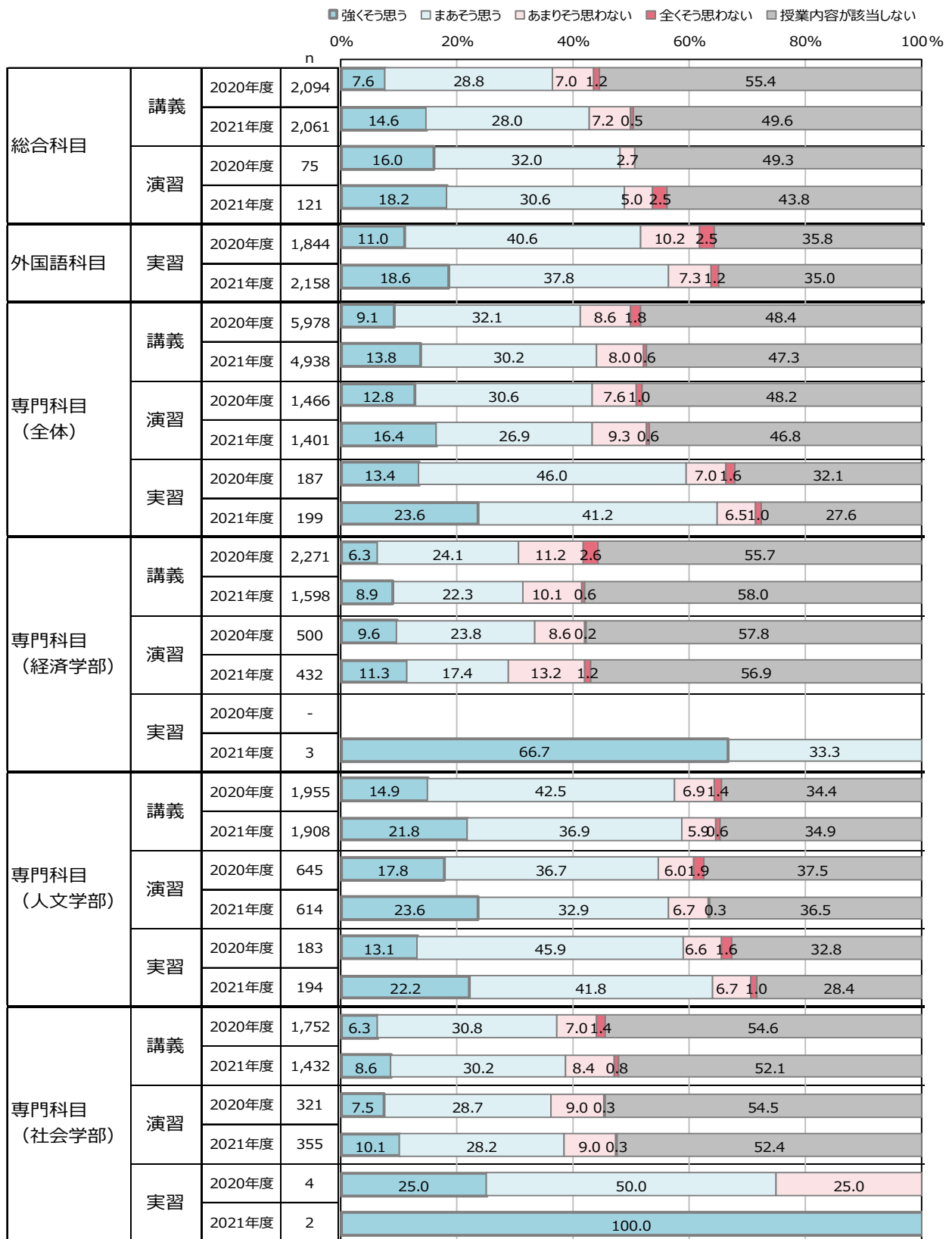
Ⅲ-5. 異文化を理解し多様な他者と協働して社会に貢献できる対話力が身についた



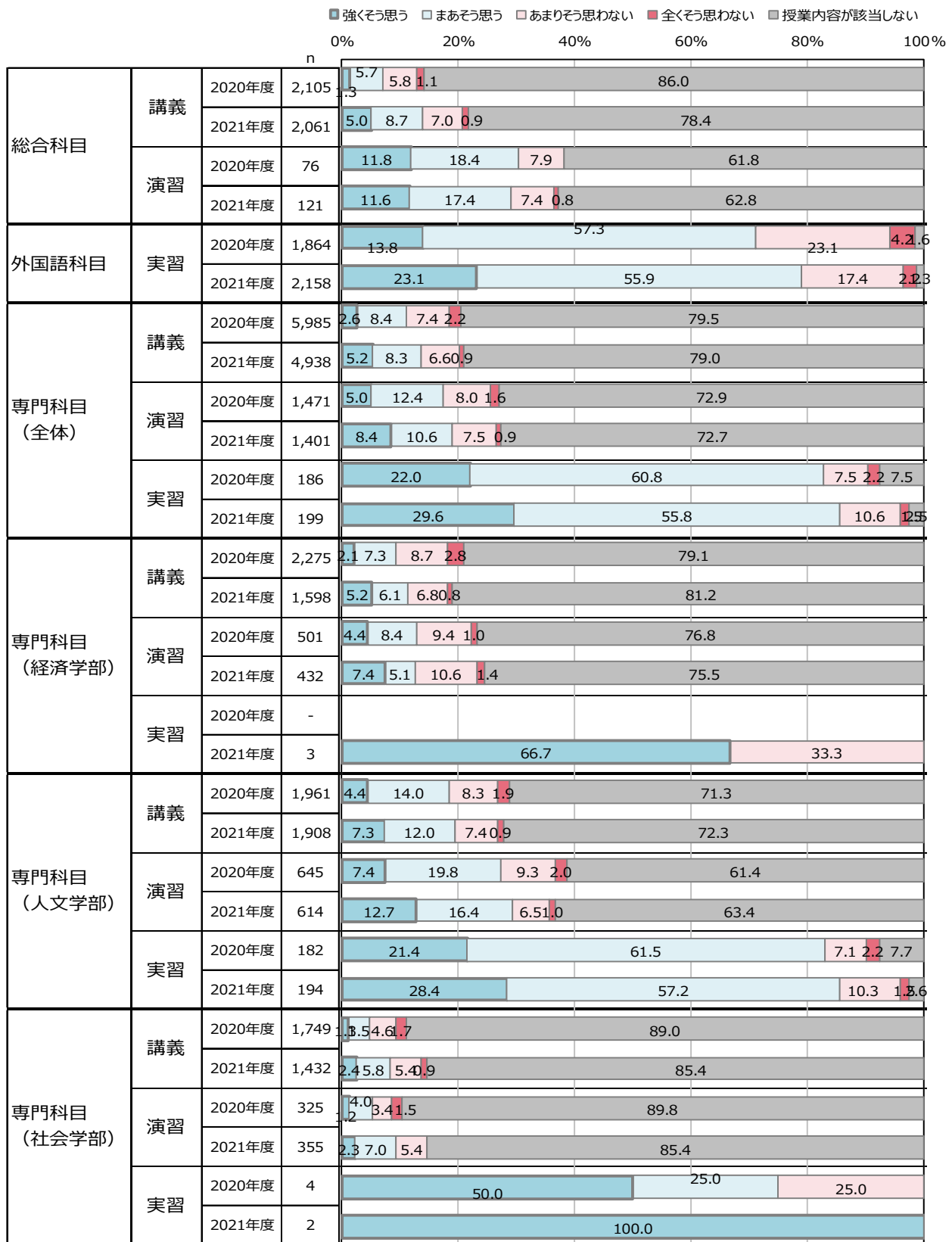
III-6. 異文化を理解し多様な他者と協働して社会に貢献できる共感が身についた



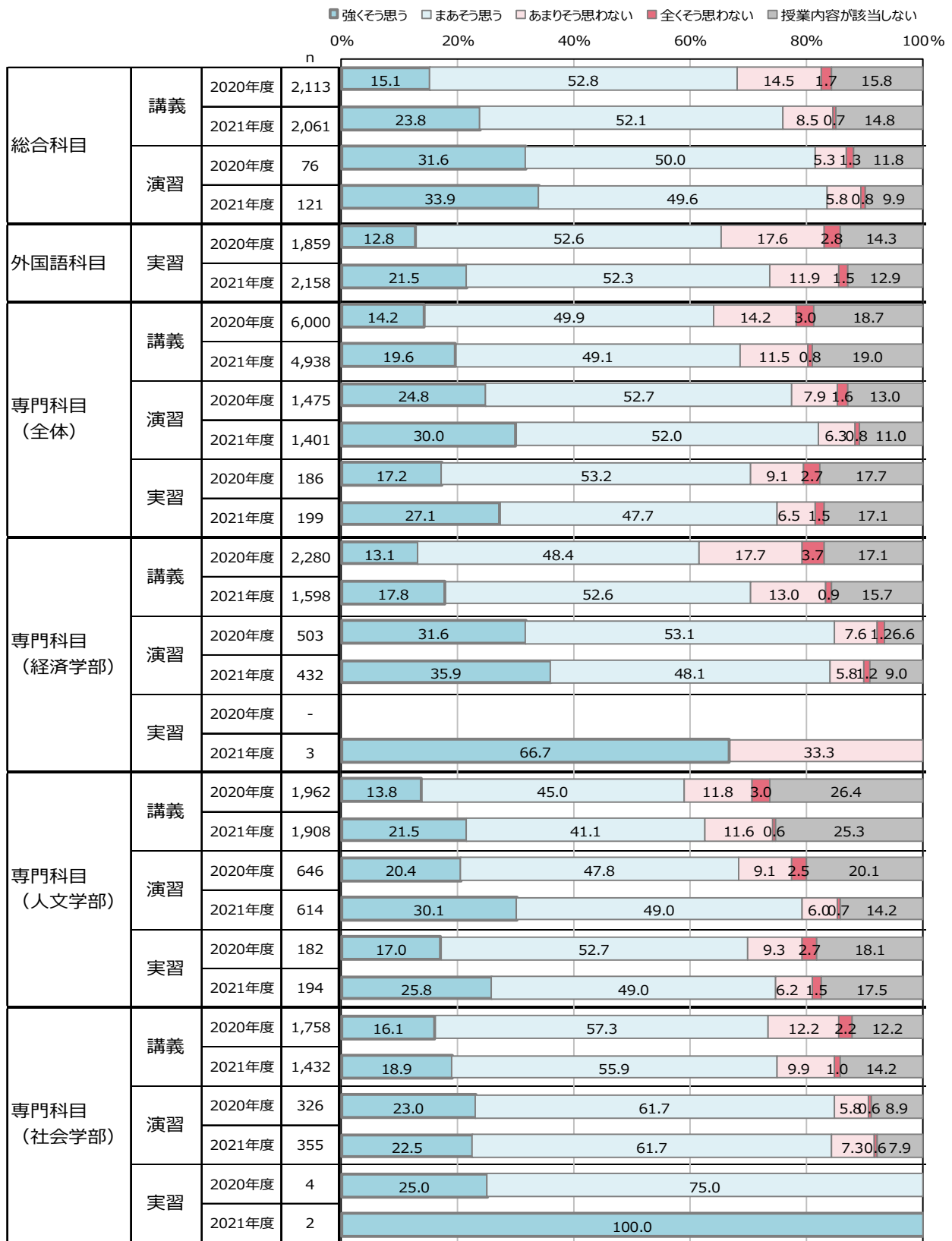
Ⅲ-7. グローバルな視点で物事を考える力が身についた



Ⅲ-8. 十分な外国語運用能力が身についた



Ⅲ-9. 学修の成果や学習態度を実社会で生涯をつうじて活用できる実践力が身についた



1-6. 学生が選ぶベストティーチャー賞

本年度、全学部で実施した「学生による授業評価アンケート」の結果をもとに、学生の授業満足度が高い教員を選出し顕彰を行った。

総合満足度

評価対象

1. 講義科目のみ
2. 講義科目のクラス規模別の回答率を算出し、平均回答率の90%以上の回答率があった授業
3. 回答者数が10名以上の授業

顕彰方法

各授業の履修者数等に応じて、下記の5クラスに分けて集計する。クラス別に設問:「総合的にみて、この授業は満足できた」及び「この授業を特に優れた授業として他の学生に勧めたい」のトップボックス(強くそう思う)の構成比を1:1で換算し、最上位であった教員を顕彰する。

- ◆小規模クラス1(10~29名)
- ◆小規模クラス2(30~59名)
- ◆中規模クラス(60名~99名)
- ◆大規模クラス(100名以上)
- ◆6時限オンデマンドクラス

自調自考賞

評価対象

1. 演習科目のみ
2. 演習科目の回答率を算出し、平均回答率の90%以上の回答率があった授業
3. 回答者数が10名以上の授業

顕彰方法

設問:「自ら調べ自ら考えることが楽しくなった」及び「総合的にみて、この授業は満足できた」のトップボックス(強くそう思う)の構成比を1:1で換算し、最上位であった教員を顕彰する。

2021年度の「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞者は23名が選出され、受賞者には学長より賞状と副賞が授与された。

2015年度までは、3部門・計12名のベストティーチャーを選出していたが、このベストティーチャー賞の受賞を励みにしたいという教員が多いことや、本学の「少人数教育」のメリットを生かした授業を少しでも多く顕彰したいという思いから、2016年度より部門を1つ追加した。2018年度には、「ゼミの武蔵」を代表するような授業である演習科目を対象に「自調自考賞」を設けた。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、設問を大幅に変更したこと等の理由から「自調自考賞」は設けずに実施したが、2021年度は例年通り「自調自考賞」を設けることができた。また、2020年度からオンライン授業が継続されていることを受け、「6時限オンデマンドクラス」を新たに「総合満足度」に加えた。「6限オンデマンドクラス」とは2018年度から2020年度において履修者数200名以上の実績がある大規模授業で2021年度にオンデマンド方式をとった科目群を指している。今後も様々な基準を設けてそれぞれの分野で活躍されている教員を表彰したいと考えている。一方で、回答率が低いことで評価対象とならない授業が多い点が課題として挙げられるため、今後の検討課題としたい。

2021年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞者

【総合満足度】

《小規模授業の部1(10～29名)》

※敬称略、五十音順

担当者	科目名
岩崎 有一	コンピューティング応用A
戸塚 学	日本近現代文学1
直井 一博	英語教育方法論1

《小規模授業の部2(30～59名)》

担当者	科目名
諫山 三武	コンピューティング基礎/メディア情報処理基礎
酒井 徹	生徒指導の理論と方法
自見 まき子	日本語の教授法1
吉田 昌裕	経済数学/経済数学 I

《中規模授業の部(60～119名)》

担当者	科目名
小田桐 誠	活字メディアの社会学/出版研究
高野 太輔	イスラーム文化論1/イスラーム圏交流史1
高橋 徳行、笠原 一絵	現代社会と経済
渡邊 直人	原価計算論1/原価計算論 I

《大規模授業の部(100名以上)》

担当者	科目名
小川 絵美子	多文化共生の現在
笠原 一絵	経営学基礎
玉置 佑介	質的社会調査方法論/社会調査方法論B
平野 邦輔	異文化コミュニケーション論1

《6時限オンデマンドクラス》

担当者	科目名
粉川 一郎	NPO・NGOとメディア/NPOとNGOの社会学
佐藤 克司	キャリアデザイン論B
中嶋 幹	証券市場論1/証券市場論 I
山口 みどり	イギリス文化論1

【自調自考賞】

担当者	科目名
大野 早苗	教養ゼミナール
小森 真樹	英語英米文化基礎ゼミナール1
垂見 裕子	卒業論文
桃崎 有一郎	日本・東アジア文化基礎ゼミナール1